

# 履修の手引き

Course Guide

2026



新潟産業大学  
Niigata Sangyo University

# 建学の精神・教育理念・教育目標

## 【建学の精神】

戦後日本の再建・発展と平和で幸福な社会の建設のために、若い人材を育成し、地域を支える人材を育てる

## 【教育理念】

人間力を磨いて主体的自我を確立し、新しい時代感覚を持って社会に貢献する人間を育成する

## 【教育目標】

自ら学び、自ら考え、自ら行動する自立（自律）した人間を育てる

=====

教育理念及び教育目標に基づく、ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与に関する方針）、カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成方針）は以下のとおりです。

## 【ディプロマ・ポリシー】（学位授与の方針）

### 経済経営学科のディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

- 「知識・問題解決力」                   \*変化する社会のニーズに応えるために
  - ・経済学と経営学の基本概念と専門知識を修得している。
  - ・日本や世界の経済・社会・文化に関する幅広い知識を有している。
  - ・情報収集力と分析力、課題発見力と課題解決力を有している。
  - ・地域経済や企業のおかれている状況を判断する能力と、経営実務に携わるための基礎知識を有している。
  
- 「コミュニケーション力」           \*複雑化する人間関係に応えるために
  - ・人々と信頼関係を築くためのコミュニケーション能力を備えている。
  - ・相手の意見を理解し、適切な方法で自分の意見を説明することができる。
  - ・グループ内だけに留まらず、多様な人々と繋がり、協働できる。
  
- 「社会への関心と自己学習力」       \*持続可能な世界の実現のために
  - ・日本の社会が世界と繋がっているという意識を持っている。
  - ・社会の変化に対応し、自主的・主体的に学び続ける姿勢をとっている。
  - ・社会で自立し、持続可能な世界の実現のために貢献する意欲がある。

学位：学士（経済経営学）

## 文化経済学科のディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

- 「知識・問題解決力」                   \*変化する社会のニーズに応えるために
  - ・文化経済学の基本概念と専門知識を修得している。
  - ・日本や世界の経済・社会・文化に関する幅広い知識を有している。
  - ・情報収集力と分析力、課題発見力と課題解決力を有している。
  - ・文化を文化的財として捉え、新たな文化産業の可能性を理論的かつ実践的に追究しうる能力がある。
  
- 「コミュニケーション力」           \*複雑化する人間関係に応えるために
  - ・人々と信頼関係を築くためのコミュニケーション能力を備えている。
  - ・相手の意見を理解し、適切な方法で自分の意見を説明することができる。
  - ・グループ内だけに留まらず、多様な人々と繋がり、協働できる。
  
- 「社会への関心と自己学習力」      \*持続可能な世界の実現のために
  - ・日本の社会が世界と繋がっているという意識を持っている。
  - ・社会の変化に対応し、自主的・主体的に学び続ける姿勢をとっている。
  - ・社会で自立し、持続可能な世界の実現のために貢献する意欲がある。

学位：学士（文化経済学）

## 【カリキュラム・ポリシー】（教育課程編成・実施の方針）

### 1. 教育課程編成の方針

教育課程は、「基本教育科目」と「専門教育科目」の2つの科目区分から編成することとし、基本教育科目は基礎科目と教養科目により構成し、基礎科目には、大学生生活、基礎学力、キャリア支援、情報基礎力を配置し、教養科目には、表現基礎力・外国語、グローバル養成科目、自然科学、社会科学、人文科学養成科目を配置する。経済経営学科並びに文化経済学科とも同一とする。

「基本教育科目」では、学位授与の方針（ディプロマポリシー）として掲げている「コミュニケーション力—複雑化する人間関係に応えるために—」および「社会への関心と自己学習力—持続可能な世界の実現のために—」を達成するための教育課程の編成とする。

また、「専門教育科目」では、学位授与の方針（ディプロマポリシー）として掲げている「知識・問題解決力—変化する社会のニーズに応えるために—」および「社会への関心と自己学習力—持続可能な世界の実現のために—」を達成するための教育課程の編成とする。

（1）基本教育科目は基礎科目と教養科目により構成し、基礎科目では、入学者の基礎学力の再構築と大学の学習への円滑な移行を図る。社会人学生を除き、1年次から2年次の「基礎ゼミナール」を必修とし、「生活数学」「日本語表現」選択科目を配置し、基礎学力の向上を図る。また、キャリア支援では、1年次から4年次まで「キャリアデザイン」の講義と「インターンシップ」「新潟の企業を知る」を配置し、系統的かつ効果的なキャリア教育を行う。表現基礎力には、英語、中国語、韓国語、日本語（外国人留学生用）を置き、地域社会、地域企業の国際化に対応する語学力の向上を図る。教養科目では、豊かな人間性と社会性を支える幅広い教養の習得を図る。

（2）経済経営学科の専門教育科目は、学科共通科目、経済学系科目、経営学系科目、金融系科目で編成し、1年次の基礎的な専門科目から学年進行に沿って、より高度な専門科目へと進めるよう順次性に配慮した科目配置とする。また、必修科目及び選択必修科目、履修指定科目を適正に定めて4年間の履修モデルを明示し、3年次以降の「経済分析・未来予測コース」「企業経営・情報戦略コース」「企業会計・金融制度コース」への学びを誘導し、ひいては進路イメージの形成につなげるようにする。

(3) 文化経済学科の専門教育科目は、文化経済学特性により、文化経済学系科目を中心に、経済経営系科目、学科共通科目、文化産業・国際理解系科目、地域づくり系科目、スポーツ・健康経営系科目で編成し、1年次の基礎的な専門科目から学年進行に沿って、より高度な専門科目へと進めるよう順次性に配慮した科目配置とする。また、必修科目及び履修指定科目を適正に定めて4年間の履修モデルを明示し、特に、文化経済学系科目は、「文化産業・国際理解コース」「持続可能な地域づくりコース」「スポーツ・健康経営コース」の3コースを明示し、学生一人ひとりが学びの目的を自覚できるようにする。

(4) 両学科ともに、3年次に一つのコースを選択し、専門教育科目「専門ゼミナール」に2年間所属し、最終年次の4年次で集大成となる成果を書き上げ、進路に繋げる。

## 2. 教育課程実施の方針

(1) 教育課程を構成する授業科目の目標、内容、教育方法、評価方法を記した「講義概要（シラバス）」を示すとともに、教育課程の構造や履修系統を可視化する「カリキュラム表」を示す。

(2) 単位制度の実質化を図る観点から、特定の学期における偏りのある履修登録を避けるとともに、学生が到達目標を見据えて適切な授業科目の履修が可能となるように、養成する具体的な人材像に対応した典型的な「科目ナンバー・履修モデル」を提示する。

(3) 卒業時における質を確保する観点から、予め学生に対して各授業科目における到達目標や授業の方法、計画等を明示したうえで、成績評価基準や卒業認定基準を示し、これに基づく厳格な評価を行う。

2026年度 学事日程


授業日  
 定期試験・追試験・再試験・転学科試験  
 祝日等振替授業日  
 行事日  
 緑字: 補講日  赤字: 祝日

春 学 期								秋 学 期																							
		日	月	火	水	木	金	土			日	月	火	水	木	金	土														
3 ・ 4 月	29	30	31	1	2	3	4	29(日)～2(木)履修登録期間 1(水)～3(金)が'ダンス・健康診断 4(土)入学式 6(月)授業開始 6(月)～10(金)履修登録科目確認期間 13(月)～15(水)履修変更・エラー修正期間 15(水)2大学合同新入生歓迎会 21(火)～23(木)履修中止期間 30(木)4/29水曜日振替授業日								10 月	1	2	3	3(土)転学科試験 5(月)～7(水)履修変更・エラー修正期間 13(火)～15(木)履修中止期間 14(水)10/12月曜日振替授業日 16(金)紅葉祭前日準備日 休講日 17(土)～18(日)紅葉祭 19(月)休講日 22(木)10/19月曜日振替授業日											
	5	6	7	8	9	10	11										4	5	6									7	8	9	10
	12	13	14	15	16	17	18										11	12	13									14	15	16	17
	19	20	21	22	23	24	25										18	19	20									21	22	23	24
	26	27	28	29	30	25	26										27	28	29									30	31		
5 月	1	2	27(水)スポーツ大会 産大カップ								11 月	1	2	3	4	5	6	7	19(木)ゼミナールⅣ卒業論文報告会(4年生) 25(水)ゼミナールガイダンス(2年生) 27(金)11/23月曜日振替授業日												
	3	4										5	6	7	8	9	8	9			10	11	12	13	14						
	10	11										12	13	14	15	16	15	16			17	18	19	20	21						
	17	18										19	20	21	22	23	22	23			24	25	26	27	28						
	24	25										26	27	28	29	30	29	30													
6 月	1	2	3	4	5	6	2(火)創立記念日授業日								12 月	1	2	3	4	5	12(土)職活動集中対策講座(3年生) 28(月)学生冬季休業開始 29(火)～1/1(金)年末年始窓口休業日(予定)										
	7	8	9	10	11	12										13	6	7	8	9			10	11	12						
	14	15	16	17	18	19										20	13	14	15	16			17	18	19						
	21	22	23	24	25	26										27	20	21	22	23			24	25	26						
	28	29	30	27	28	29										30	31														
7 月	1	2	3	4	23(木)地域理解ゼミナールⅢ 合同発表会(2年生) 24(金)7/20月曜日振替授業日 27(月)～29(水)補講日 30(木)～8/5(水)春学期定期試験期間								1 月	1	2	8(金)授業開始 15(金)大学入学共通テスト前日準備日休講日															
	5	6	7	8										9	10			11	3	4	5	6	7	8	9						
	12	13	14	15										16	17			18	10	11	12	13	14	15	16						
	19	20	21	22										23	24			25	17	18	19	20	21	22	23						
	26	27	28	29										30	31			24	25	26	27	28	29	30							
8 月	1	6(木)予備日 7(金)学生夏季休業開始 12(水)追試験 13(木)～14(金)お盆窓口休業日 17(月)～9/4(金)集中講義期間 27(木)卒業生発表・成績発表・疑義照会								2 月	1	2	3	4	5	6	1(月)～3(水)補講日 4(木)～10(水)秋学期定期試験期間 12(金)～15(月)予備日 16(火)学生春季休業開始 19(金)企業研究セミナー(3年生) 17(水)・18(木)追試験 26(金)卒業生発表・成績発表・疑義照会														
	2										3	4	5	6	7	8			7	8	9	10	11	12	13						
	9										10	11	12	13	14	15			14	15	16	17	18	19	20						
	16										17	18	19	20	21	22			21	22	23	24	25	26	27						
	23										24	25	26	27	28	29			28												
9 月	1	2	3	4	5	1(火)再試験 10(木)卒業生発表 18(金)～24(木)履修登録期間 25(金)授業開始 25(金)～10/1(木)履修登録科目確認期間 30(水)9月卒業式								3 月	1	2	3	4	5	6	3(水)再試験 5(金)卒業生発表 13(土)卒業式										
	6	7	8	9	10										11	12	7	8	9	10			11	12	13						
	13	14	15	16	17										18	19	14	15	16	17			18	19	20						
	20	21	22	23	24										25	26	21	22	23	24			25	26	27						
	27	28	29	30	28										29	30	31														


# スマートフォンに ST メール(Gmail)を登録しよう！

## ■Android の場合

### 【アカウントの追加】


1. Android のスマートフォンで Gmail アプリを開きます。
2. 右上のプロフィールアイコンをタップします。
3. 「別のアカウントを追加」をタップします。
4. 追加するアカウントとして「Google」を選択します。
5. 画面の手順に沿って、メールアドレスとパスワードを入力します。

### 【アカウントの切替（複数のアカウントを設定している場合）】


1. Android のスマートフォンで Gmail アプリを開きます。
2. 右上のプロフィールアイコンをタップします。
3. 使用するアカウントをタップします。

## ■iOS の場合

### 【アカウントの追加】

1. iPhone で Gmail アプリを開きます。
2. 右上のプロフィールアイコンをタップします。
3. 「別のアカウントを追加」をタップします。
4. 追加するアカウントとして「Google」を選択します。
5. 画面の手順に沿って、メールアドレスとパスワードを入力します。

### 【アカウントの切替（複数のアカウントを設定している場合）】

1. iPhone で Gmail アプリを開きます。
2. 右上のプロフィールアイコンをタップします。
3. 使用するアカウントをタップします。

大学からの重要なメッセージが  
届くよ！必ず登録しよう！  
登録ができていない学生はネット  
ワーク管理部署が設置されて  
いる図書館（3F）に行ってね！



## 1 - 1. ポータルサイトログイン方法



**終了時はログアウトしましょう**

ログアウトせずに他のPCやスマートフォンで操作すると「他のPCで更新しています」というエラーが出ます

Aportal用のログインIDとパスワードを入力して、ログインしてください。

メールアドレスは大学が付与しているStメールになります。

パスワード再発行

登録しているメールアドレスを入力してください。パスワード再発行の案内をお送りします。

メールアドレス

パスワードを忘れた方はこちら

万一、パスワードを忘れた場合も、自分で再発行できます。

ログイン画面のURL

スマートフォンなどで読み込むと、簡単にログイン画面にたどり着けます。ブックマークするのにご利用ください。

<https://nsu.ap-cloud.com/login>

**セキュリティ上、パスワードは必ず初期パスワードから変更をお願いします。**

※ WEBシステムは機密保護のため、60分操作が行われないと自動的にシステムより切断されます。ご注意ください。  
※ WEBシステムを利用頂くには、ブラウザに次の設定が必要となります。

Copyright ©2021 L&D System Design Lab, Inc. all rights reserved.

## 1 - 2. 基本機能



設定

- パスワード変更
- メールアドレス
- 個人プロフィール

パスワード変更をお願いします。パスワード変更のルールは次の3つです。

- ①8桁以上
- ②「アルファベット」と「数字」の両方を含む
- ③生年月日など、個人情報から類推可能な情報を含めない

**一番最初に設定をお願いします。**

各機能別のマニュアルを参照できます。

操作メニュー  
※サンプル画面のため実際の表示とは異なります。

掲示板、休補講、教室変更に関するお知らせ掲示板。

時間割が表示されます。

Active Portal

メッセージ

コース・資格申請

レポート提出

履修登録

抽選授業結果確認

シラバス閲覧(大学)

将来の夢・目標

履修状況

出席登録

アンケート

教職履修カルテ

学年暦

掲示板

休補講・教室変更

時間割

2014年 9月 21 ~ 27日

日	週	月	今日	<	>	2014年 9月 21 ~ 27日	
指定なし	9/21 (日)	9/22 (月)	9/23 (火)	9/24 (水)	9/25 (木)	9/26 (金)	9/27 (土)
8:00							

Copyright ©2021 L&D System Design Lab, Inc. all rights reserved.

## 2-1. 「履修登録」機能に入る




➤ ログインした画面で、「履修登録」機能を選択して、履修登録機能に入ります。

Copyright ©2021 L&D System Design Lab, Inc. all rights reserved.

## 2-2. 科目を登録する



➤ 履修登録したいコマの  をクリックすると、授業が選択できます。

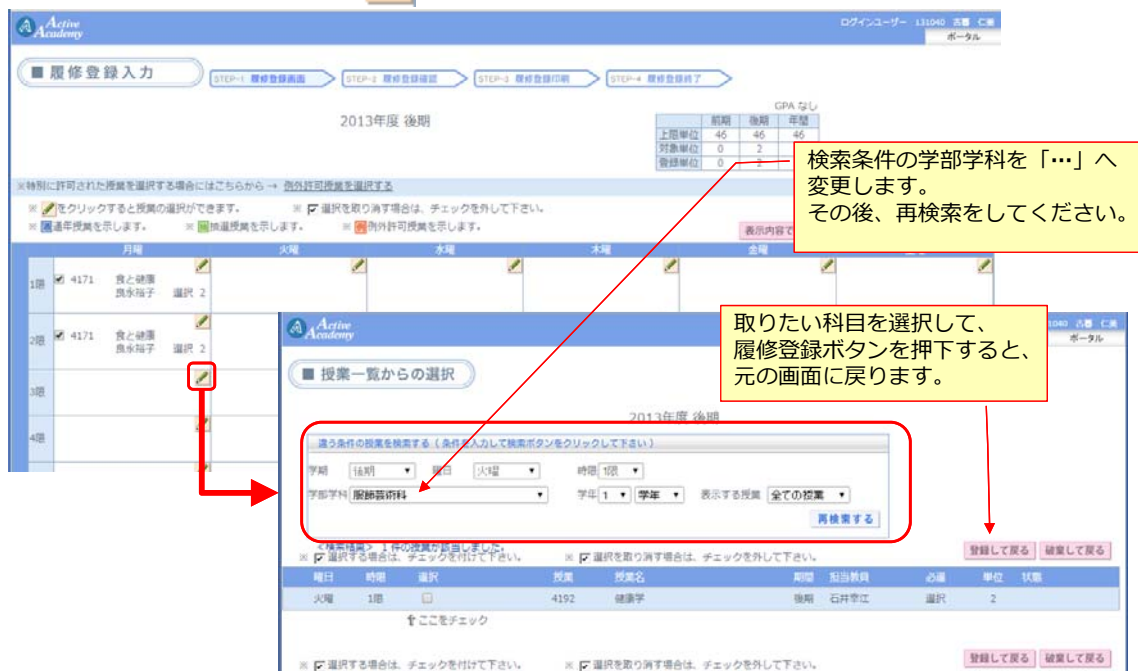
 をクリックすると、授業が選択できます。' (Clicking the pencil icon for the course you want to register for allows you to select the class). Another callout box points to the '授業一覧からの選択' (Selection from Course List) dialog box with the text: '取りたい科目を選択して、履修登録ボタンを押下すると、元の画面に戻ります。' (Select the course you want to take, click the registration button, and you will return to the original screen). A third callout box points to the search criteria in the dialog box with the text: '過年度科目や、他学科履修を行うときは、検索条件を指定して検索します。' (When registering for courses from previous years or other departments, specify search conditions and search). A fourth callout box points to the search results table with the text: '自学科、自学年に配当された履修可能な科目のみ表示されます。' (Only courses available for registration in your department and year are displayed). The search results table shows: 曜日 (曜日), 時間 (時間), 科目 (科目), 単位数 (単位数), 履修 (履修). The table data is: 火曜 (火曜), 1時 (1時), 4192 (4192), 健康学 (健康学), 後期 (後期), 石井幸江 (石井幸江), 選択 (選択), 2 (2)."/>

Copyright ©2021 L&D System Design Lab, Inc. all rights reserved.

## 2-3.他学科科目を登録する



- 履修登録したいコマの  をクリックすると、授業が選択できます。



検索条件の学部学科を「…」へ変更します。その後、再検索をしてください。

取りたい科目を選択して、履修登録ボタンを押下すると、元の画面に戻ります。

2013年度 後期

学期	後期	科目	時間	1限
学部学科	服飾芸術科	学年	1	学年

再検索する

曜日	時間	選択	授業	授業名	期間	担当教員	必修	単位	状態
火曜	1限	<input type="checkbox"/>	4192	健康学	後期	石井幸江	選択	2	

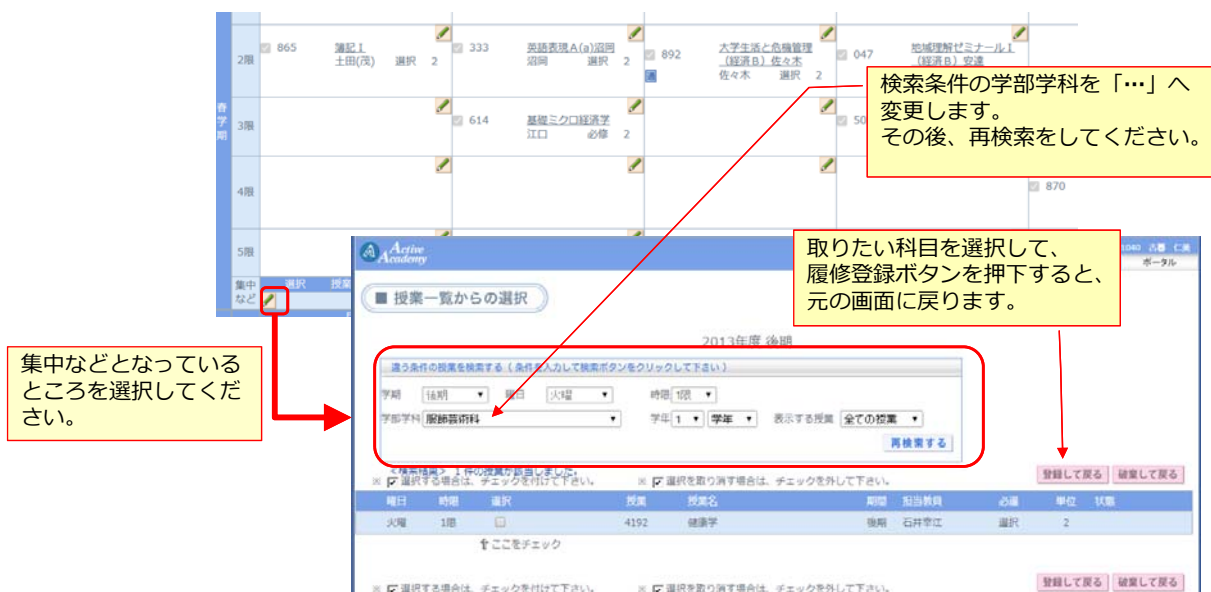
登録して戻る 破棄して戻る

Copyright ©2021 L&D System Design Lab, Inc. all rights reserved.

## 2-4.集中講義・managara科目を登録する



- 履修登録したいコマの  をクリックすると、授業が選択できます。



検索条件の学部学科を「…」へ変更します。その後、再検索をしてください。

取りたい科目を選択して、履修登録ボタンを押下すると、元の画面に戻ります。

集中などとなっているところを選択してください。

2013年度 後期

学期	後期	科目	時間	1限
学部学科	服飾芸術科	学年	1	学年

再検索する

曜日	時間	選択	授業	授業名	期間	担当教員	必修	単位	状態
火曜	1限	<input type="checkbox"/>	4192	健康学	後期	石井幸江	選択	2	

登録して戻る 破棄して戻る

Copyright ©2021 L&D System Design Lab, Inc. all rights reserved.

## 2-5. 登録を確定する



- 授業を選び終わったら、登録操作を行います。
- 履修登録期間中は、何度でも登録確定操作を行えます。（一番最後が「正」）

2013年度 後期

		GPA なし		
		前期	後期	年間
上限単位	46	46	46	
対象単位	0	5	5	
登録単位	0	5	5	

※特別に許可された授業を選択する場合にはこちらから → 例外許可授業を選択する

※ クリックすると授業の選択ができます。 ※ 選択を取り消す場合は、チェックを外して下さい。

※ 通守授業を禁止します。 ※ 抽選授業を禁止します。 ※ 例外許可授業を禁止します。

表示内容で登録

2013年度 後期

履修登録の登録内容を確認して下さい。

よろしければ「登録確定」のボタンを押して下さい。登録され印刷画面に進みます。  
変更する場合は「登録変更」ボタンを押して下さい。登録画面に戻ります。（登録は行われません。）  
今回の登録内容を中止する場合は「登録中止」ボタンを押して下さい。TOP画面に戻ります。

登録確定 登録変更 登録中止

内容に問題ないことを確認して登録確定をします。

Copyright ©2021 L&D System Design Lab, Inc. all rights reserved.

## 2-6. 登録終了



- 登録終了ボタンを押して登録が完了します。

2013年度 後期

		GPA なし		
		前期	後期	年間
上限単位	46	46	46	
対象単位	0	5	5	
登録単位	0	5	5	

履修登録の登録内容を確認して下さい。

よろしければ「登録確定」のボタンを押して下さい。登録され印刷画面に進みます。  
変更する場合は「登録変更」ボタンを押して下さい。登録画面に戻ります。（登録は行われません。）  
今回の登録内容を中止する場合は「登録中止」ボタンを押して下さい。TOP画面に戻ります。

登録完了 登録変更 登録中止

履修登録が完了しました。

履修登録の確認のために当画面の「確認表を印刷」ボタンを押して、PDF出力を行って下さい。  
終了ボタンを押して下さい。終了画面に進みます。

期別	曜日	時間	授業	授業名	担当教員	必修	単位	注
後期	月曜	1限	食と健康	奥永 裕子	選択	2		
後期	火曜	1限	食と健康	石井 幸江	選択	2		
後期	火曜	3限	体育実技 A	石井 幸江	選択	1		

※\*登録の確認のために当画面の「確認表を印刷」ボタンを押して、PDF出力を行って下さい。  
終了ボタンを押して下さい。終了画面に進みます。

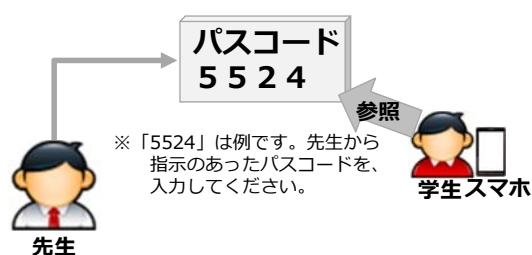
確認表を印刷 登録完了

履修登録が完了しました。  
おつかれさまでした。

TOP画面へ戻る場合は右上のポータルよりTOP画面へお戻りください

Copyright ©2021 L&D System Design Lab, Inc. all rights reserved.

### 3. 出欠登録

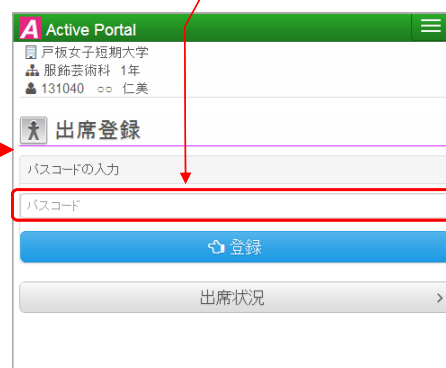


重要

スマートフォンを持っていないもしくは、  
忘れた人は、科目担当教員の指示を仰いでください。



先生の書かれたパスコードを、  
入力して『登録』を押す。



Copyright ©2021 L&D System Design Lab, Inc. all rights reserved.

### その他



・履修登録や出欠登録のほかにも様々な機能があります。

例)履修の手引きの閲覧

レポート提出

シラバスの閲覧 など

大学からの大事な連絡は、ポータルサイトのメッセージに送ります。  
見落とさないようにしてください。

Copyright ©2021 L&D System Design Lab, Inc. all rights reserved.

# 1 履修登録について

## 1. 履修登録を始める前に

履修登録とは、自分が履修（勉強）する授業科目を決めることです。手続きにはルールがあります。

## 2. 履修登録日程

### ○履修登録期間

春学期：3月29日（日）9時～4月02日（木）23時59分まで

秋学期：9月18日（金）9時～9月24日（木）23時59分まで

## 3. 履修登録可能な履修制限単位に注意

1学期で最大23単位の履修、年間で**最大46単位の履修**が認められます。（原則、1科目2単位）以上を踏まえ、履修制限単位数の上限を超えていないか確認しましょう。

例えば、春学期に20単位を履修した場合、履修科目の可否に関わらず秋学期は23単位の履修登録が上限となります。（26単位ではありません）

ポータルサイトでは、上限を超えて登録を行うとエラーが表示されます。

履修制限単位数に含まれない科目は、「資格取得による単位認定」、「学芸員課程に関する専用科目」、「他大学単位互換科目」、「休学期間中に他大学等で修得した単位」、「既修得単位認定」、「新潟産業大学学生の留学に関する規程で留学し修得した単位」、「ボランティア活動に対する単位認定」などを言います。詳細は、学務課にお問い合わせください。

### 担任制度について…

新潟産業大学では4年間を通じてクラス担任制度を設置し、修学指導や生活相談など幅広く対応するよ！

1～2年生：基礎ゼミナールの担当教員

3～4年生：専門ゼミナール担当教員

クラス担任や事務局を活用して大学生活を有意義なものにしよう！！



#### 4. 授業の種類と開講方法について

時間表上の科目の開講期や種類は、以下の記号で判断することができます。科目の性質をよく理解して履修登録を行ってください。

授業の種類 (単位数)	時間表 表示 記号	内 容	科目 (例)
半 期 科 目 (2 単 位)	△(春) ▽(秋)	半期完結科目 週1コマ開講	通常の半期科目、I/II (A/B) 分割科目等
半期集中科目 (4 単 位)	▲(春) ▼(秋)	半期完結科目 週2コマ開講	日本語科目、日本語演習
集中講義 (2 単 位) 不定期 (1・2・3 単 位)	◇	夏期休暇等を利用 し集中または期間 を決めて開講	学芸員課程に関する専用科目 日本文化経済視察研修、外国文化経済視察研修、 インターンシップ等
必修科目	必	必ず修得しなければ ならない科目	【経済経営】ミクロ経済学、マクロ経済学等 【文化経済】文化経済学、文化産業論等 【学科共通】基礎ミクロ経済学、基礎マクロ経済学、 経営学入門 基礎ゼミナールI～IV/ゼミナールI ～IV/地域理解ゼミナールI～III等
他学科科目	他	自学科にない他学 科の専門科目	時間表右端の「属性」に「他」と表示される科目は 他学科の科目で、卒業に最低限必要な単位数に算入
履修指定科目	指	履修指定科目 (全学生対象)	当該年次に必ず履修しなければならない科目 大学生活と自己理解I・II、パソコン演習I・II、 【カリキュラム表に「O」が付いている科目】
		履修指定科目 (日本人学生対象)	簿記I・II、新潟の企業を知る
留学生科目	留	留学生だけが履修 できる科目	日本語I、日本語II、日本語III、日本語演習、 日本語上級A、日本語上級B、ビジネス日本語
学芸員課程に 関する専用 科目	必学	学芸員課程を申請 した日本人学生が 履修できる科目	博物館資料論、博物館情報・メディア論、 博物館実習、博物館教育論、博物館資料保存論

## 5. 履修登録時の留意点

### (1) 必修科目・履修指定科目

つぎの科目は学務課が事前に履修登録を行います。

(対象となる学生の履修登録画面では、すでに登録がされている状態です)

それぞれ指定された学生以外は履修できません。但し、履修指定科目は、学年進行に伴う当該配当年次1回のみの学務課登録となります。

#### 【必修科目】

- 両学科共通：「基礎ゼミナールⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」、「ゼミナールⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」、  
「地域理解ゼミナールⅠ・Ⅱ・Ⅲ」、「基礎ミクロ経済学」「基礎マクロ経済学」  
「経営学入門」  
経済経営学科：「ミクロ経済学」「マクロ経済学」  
文化経済学科：「文化経済学」「文化産業論」

#### 【履修指定科目】

- 両学科共通：「パソコン演習Ⅰ・Ⅱ」、「大学生活と自己理解Ⅰ・Ⅱ」、※「新潟の企業を知る」、  
※「簿記Ⅰ・Ⅱ」  
※「簿記Ⅰ・Ⅱ」日本人学生は1年生の時に必ず履修しなければならない科目  
※「新潟の企業を知る」日本人学生は2年生の時に必ず履修しなければならない科目

### (2) 学芸員課程について

学芸員課程に関する科目は、本手引きから、カリキュラム表を参照してください。また、実習費がかかりますので、詳しくは学芸員課程ガイダンスにて説明します。(日時は別途連絡します)  
なお、対象は1・2年生となります。

### (3) 教職課程について

星槎大学(通信制)との連携により、新潟産業大学に通いながら教職課程の学習ができます。  
手続きや履修方法など詳しくは教職課程ガイダンスにて説明します。(日時は別途連絡します)  
なお、対象者は1・2年生となります。

### (4) 進級要件について

2年生は3年生に進級するために「進級要件」を満たすように履修し、単位を修得しなくてはなりません。進級要件は入学年度および学科によって異なります。進級要件の詳しい内容は「8 進級要件・卒業要件について」を確認してください。  
(社会人学生の進級要件の適用はありません)

### (5) その他の履修登録上のルール

- ・ 学期ごとに、履修しようとする授業科目を履修登録してください。履修登録をしていない授業の受講、学期末試験の受験、単位の修得はできません。
- ・ 必修科目及び履修指定科目は、配当年次に学務課にて自動登録されます。必修科目は、当該学期に単位修得ができなかった場合、次学期以降に再履修し卒業までに必ず単位を修得してください。
- ・ 所属年次の必修科目と再履修科目が同一曜日・時限に重なった場合、必修科目の履修を優先してください。
- ・ 半期集中科目(4単位)は週2回開講です。

- ・ 同一の曜日時間帯に2科目以上の重複登録はエラーとなり登録できません。
- ・ 所属年次より高年次配当の科目は原則として履修することはできませんが、所属年次より低年次配当の科目は履修することができます。
- ・ 履修エラーの際、指定期間内に学務課からの呼び出しに従わなかった学生については、学務課にてエラー科目を削除します。(履修登録単位数の超過は、任意登録科目を上限まで削除します)

## 6. 資格取得による単位の認定について

### ①資格取得による単位認定

所定の資格を所有している場合(在学中の取得を含む)、その資格は正規授業科目の単位として認定されます。春学期・秋学期の年2回学務課にて受け付けます。詳しくは、ポータルサイトおよび掲示にて周知しますので、該当者は指定された期限内に必要な手続きを行ってください。

### ②ボランティア活動参加による単位認定

本学では、ボランティア活動が教育上有意義なものであると判断し、活動への参加を奨励しています。通常、「ボランティア演習Ⅰ(2単位)・Ⅱ(2単位)」を履修し、ボランティア活動に参加することで卒業単位として認定できますが、履修できなかった学生の自主的なボランティア活動参加についても、所定の時間数を満たした場合、「ボランティア演習Ⅰ(2単位)・Ⅱ(2単位)」として単位を認定することができます。詳細は、学務課までお問合せください。

## 7. 実習費等が必要な授業について

授業科目の中には、別途交通費や実習費等の支払いが必要となるものがありますので注意してください。該当科目と係る費用についてはシラバスに記載しています。

## 8. 本学通信教育課程『managara』授業を受講希望する学生へ

managara 授業は、インターネット環境を利用したオンデマンド方式の授業です。

受講を希望する場合には、決められた時期に所定の手続きを学務課にて行ってください。(詳細は別途連絡します)

## 2 履修者数制限科目について

履修者数制限科目は通常の科目とは異なり、抽選により履修者を限定する科目です。したがって履修を認められた学生のみ受講できます。この科目を希望する人は履修登録方法を確認し、履修登録を行ってください。対象となる科目は、以下のとおりです。※曜日校時は、時間割を確認してください。

開講 学期	科目名	担当教員	履 修 制 限 学 生 数	受講決定方法（方法2）	備考
春学期	リーダーシップ	高橋成夫	20名	第1回目の授業時の「授業に関する詳しいガイダンス」後に、教員による無作為の抽選を行う。	専門科目 2年次選択
春学期	デザイン演習Ⅰ	権田恭子	10名	初回授業時に出席し、担当教員の説明を聞いた上で、受講希望の理由等を記載し、提出。 受講希望の理由、過去の履修科目のGPAを総合的に検討して受講者を決定する。	教養科目 1年次選択
秋学期	デザイン演習Ⅱ	権田恭子	10名	初回授業時に出席し、担当教員の説明を聞いた上で、受講希望の理由等を記載し、提出。 受講希望の理由、過去の履修科目のGPAを総合的に検討して受講者を決定する。	教養科目 1年次選択
秋学期	ビジネス演習	今村健太郎	15名	初回授業時に出席し、15名を超えた場合は、「ビジネスプランを作成し、柏崎商工会議所や金融機関のプロフェッショナルの前でビジネスプランのプレゼンテーションをする前提として、どのようなビジネスプランを作成するのか」について150字以上300字以内でレポートを1回目の講義内で提出をし、そのレポート内容によって15名までに制限します。	専門科目 2年次選択
秋学期	デザイン演習Ⅲ	権田恭子	15名	初回授業時に出席し、担当教員の説明を聞いた上で、受講希望の理由等を記載し、提出。 受講希望の理由、過去の履修科目のGPAを総合的に検討して受講者を決定する。	教養科目 2年次選択

※上記科目の抽選方法は、以下の方法2となります。

### 1. 履修者数制限科目の履修登録方法

抽選方法は2種類あります。科目によって抽選方法が異なりますので、履修希望者は以下の抽選方法をよく確認し、履修登録を行ってください。

#### 方法1：先着順

ポータルサイト上で履修登録開始時刻（春3月29日（日）午前9時、秋9月18日（金）午前9時）より、履修登録画面にて登録を行った学生から先着順で決定します。定員に達した場合は、履修登録画面にその科目は表示されません。

#### 方法2：科目担当教員による抽選及び受講決定方法

履修登録期間中にポータルサイト上で履修登録を行ったうえで、初回授業時に配布される「履修者数を制限する科目（受講申込書）」を記入し、担当教員に提出をしてください。

## 2. 当落発表

第1回目の授業翌日にポータルサイトの「履修登録」画面から結果を確認できます。履修登録画面内に当該科目の表示がなく落選してしまった学生は、他の科目を履修登録できますので速やかに学務課窓口にお問い合わせください。

## 3 GPA制度について

### < GPA制度とは >

GPA (Grade Point Average) 制度とは、履修登録した科目毎の評価（本学では S, A, B, C, D, E, H）を 4.0 から 0.0 までの点数（GP : Grade Point）に置き換えて単位数を掛け、その総和を履修登録単位数の合計で割った平均点で、アメリカの大学で広く採用されている世界に通用する成績評価システムです。

GPAによって自分の学習効果を自分自身で把握することができるメリットがあり、本学では科目の履修にあたって、ただ卒業するのに必要な単位を取得するのではなく、学生が主体的にかつ充実した学習効果をあげることを目的としてこの制度を導入しています。また、GPAは卒業までの様々な選考の参考資料となりますので、各自のGPAを常に意識し、学習計画を立ててください。

### < 成績評価基準およびGP >

判定	評価	点数	GP	備考
合格	S	100点～90点	4.0	
	A	89点～80点	3.0	
	B	79点～70点	2.0	
	C	69点～60点	1.0	
不合格	D	59点～40点	0.0	
	E	39点以下	0.0	
	H	評価対象外	0.0	規定の出席時数に満たない者、課題や試験に取り組む姿勢がなく成績評価不能の者。
GP対象外	T	単位認定科目	—	他大学との単位互換や、編入学、資格取得による単位認定科目
	W	履修中止	—	所定の手続を経て、履修を中止したことを表す

### < GPA算出対象科目 >

基本は全履修科目を算出対象とします。ただし、学芸員科目、単位認定科目（評価T）、入学前既修得認定科目（評価T）は、GPA算出の対象としません。

### < GPA算出方法 >

$$\frac{S \text{ の修得単位数} \times 4.0 + A \text{ の修得単位数} \times 3.0 + B \text{ の修得単位数} \times 2.0 + C \text{ の修得単位数} \times 1.0}{\text{総履修登録単位数 (「D」「E」「H」の単位数を含む)}}$$

- ① 学芸員科目、単位認定科目（評価T）、入学前既修得認定科目（評価T）は、GPA算出の対象としません。

② GPAは小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位までの数値で、成績通知書、成績証明書に記載します。

- ・成績通知書・・・学期毎のGPA、通算のGPA
- ・成績証明書・・・通算のGPA

③GPAの計算例は以下のようになります。

科目名	単位数 (a)	評点	評価	GP (b)	a × b
〇〇学概論	2	95	S	4.0	8
〇〇史	2	85	A	3.0	6
□□学演習	2	50	D	0.0	0
□□概論	2	70	B	2.0	4
△△実習	1	90	S	4.0	4
計	9				22

上記成績の場合

分子・・・(単位修得した授業科目の単位数×当該授業科目のGP)の総和=22

分母・・・履修登録した授業科目の単位数の合計=9

$$GPA = 22 \div 9 = 2.4444\dots$$

よって、GPAは2.44となります。

<GPAによる特典とフォローアップ>

(1) GPAが良い学生には以下の特典があります。

入学時より卒業時までの累積GPAが著しく高い学生に対しては、卒業時に成績優秀者として表彰します。

(2) GPAがおもわしくない学生へのフォローアップ

1つの学期のGPAが著しく低い学生は、本人を呼び出し、注意と指導を行います。また、複数回注意や指導を行っても改善しない場合、退学勧告を行う場合があります。

## 4 履修登録変更について

(1) 履修登録変更とは

履修登録後、内容が自分の勉強したいものと違っていた、あるいは授業についていけない知識が不足していた等の理由で他の科目へ登録変更できる仕組みです。年2回申請期間が定められています。

なお、この仕組みは全学生が対象となります。

(2) 履修登録変更条件

1回目の授業に必ず出席していることが条件となります。

※春学期は、授業期間中に履修登録を行うため、原則履修登録の変更はできません。

※履修をやめたいのみの場合は、履修中止制度を利用してください。

(3) 履修登録変更の申請方法

① 変更を希望する学生は、所定の期間に学務課にて「履修登録変更願」を受け取り、手続きを行ってください。ゼミ担任の押印が必要になります。

② 履修登録変更願の申請時期は以下の期間です。

2026 年度春学期【 4 月 13 日(月) ~ 4 月 15 日(水)】

2026 年度秋学期【 10 月 5 日(月) ~ 10 月 7 日(水)】

- ③ 必修科目（ゼミナール等）、履修指定科目、学外実習を伴う各種実習科目は、病気等のやむを得ない場合を除き変更は認められません。
- ④ 「履修登録変更願」を提出し一度変更が認められた科目は、卒業や進級、就職活動等いかなる理由があってもその学期において履修を復活させることはできません。
- ⑤ 履修変更前の科目は成績証明書には記載されません。
- ⑥ 履修登録変更結果は、「履修登録変更願」提出日から 2 日以内にポータルサイトに反映されます。

## 5 履修エラー修正について

### (1) 履修エラー修正とは

履修登録完了後の履修エラーとなった場合のみ修正が可能です。原則、登録科目の変更・追加等は認められませんが、以下の条件にいずれか当てはまる場合に限り、履修エラー修正期間中に「履修修正願」を提出することで認められます。年 2 回申請期間が定められています。

期間は学事日程を確認してください。

### (2) 履修登録修正条件

- ① 履修者数制限科目の受講決定方法により落選したため
- ② 進級要件が不足しているため
- ③ 卒業要件が不足しているため
- ④ 登録科目が不足しているため
- ⑤ その他

### (3) 履修登録修正の申請方法

- ① 履修エラーの修正は、学務課にて手続きを行ってください。
- ② 上記 (2) の条件により、履修登録修正をしたい場合は、「履修修正願」を学務課に提出しなければなりません。ゼミ担任の押印が必要です。
- ③ 履修登録修正願の申請時期は以下の期間です（学事日程を確認してください）。  
2026 年度春学期【 4 月 13 日(月) ~ 4 月 15 日(水)】  
2026 年度秋学期【 10 月 5 日(月) ~ 10 月 7 日(水)】
- ④ 必修科目（ゼミナール等）、履修指定科目、学外実習を伴う各種実習科目は、病気等のやむを得ない場合を除き履修削除は認めません。
- ⑤ 「履修修正願」を提出し削除した科目は、卒業や進級、就職活動等いかなる理由があってもその学期において履修を復活させることはできません。
- ⑥ 履修修正条件によっては、追加登録を認める場合があります。
- ⑦ 履修を削除した科目は、翌年度に再び履修登録をすることができます。ただし、履修を削除した科目が翌年度不開講になった場合は履修することはできません。
- ⑧ 履修を削除した科目は GPA の算出対象外となり、成績証明書にも記載されません。
- ⑨ 履修修正結果は、「履修修正願」提出日から 2 日以内にポータルサイトに反映されます。

## 6 履修中止について

### (1) 履修中止制度とは

いったん履修登録したが内容が自分の勉強したいものと違っていた、あるいは授業についていけない知識が不足していた等の理由で履修計画に相違があった場合にGPAが下がることを回避するため、登録した科目の履修を取りやめることのできる仕組みです。年2回申請期間が定められています。

### (2) 履修中止制度の申請方法

- ① 履修を中止したい場合は、「履修中止願」を学務課に提出しなければなりません。ゼミ担任の押印が必要です。
- ② 「履修中止制度」の申請期間は学事日程を確認してください。
- ③ 必修科目（ゼミナール等）、履修指定科目は、病気等のやむを得ない場合を除き履修中止を認めません。
- ④ 「履修中止願」を提出し履修を中止した科目は、卒業や進級、就職活動等いかなる理由があってもその学期において履修を復活させることはできませんので注意してください。
- ⑤ 春学期に履修を中止した単位数分を、秋学期に追加登録することはできません。  
(春学期に履修を中止した科目の単位数分も年間履修登録可能単位数の46単位に含まれます)
- ⑥ 履修を中止した科目は、翌年度に再び履修登録することができます。ただし、履修を中止した科目が翌年度に不開講になった場合は履修することはできません。
- ⑦ 履修を中止した科目はGPAの算出対象外となり、成績証明書にも記載されません。成績表には履修の履歴として「W」で記載されます。
- ⑧ 履修中止結果は、「履修中止願」提出日から2日以内にポータルサイトに反映され

## 7 授業科目と単位について

### 1. 授業科目の構成

本学の授業科目は、次のように分類されます。

授業科目は履修方法により、次の種類に分類されます。

必修科目……………必ず履修し、単位を修得しなければならない授業科目。

選択必修科目……………特定された科目群の中から選択し、定められた単位数を修得しなければならない授業科目。

選択科目……………開設科目の中から自由に選択して単位を修得することができる授業科目。

### 2. 単位

本学においては単位制を採用しています。単位は学習時間を表したもので、ある科目について所定の時間学習し、試験に合格したときに修得できることとなります。単位制とは、大学に4年以上在学し、所定の単位数を修得することにより卒業できる制度です。

本学では1年間を春学期と秋学期の2学期制で運用していますが、1学期で最大23単位の履修、年間で最大46単位の履修が認められます。卒業単位は124単位ですので、各自の学習環境に合わせ余裕のある学習計画を立てましょう。

1単位は45時間あるいは30時間の学習活動を表します。この中には、時間表に組み込まれている授業時間とみなさんが自主的に行う予習・復習等の自学自習時間を含んでいます。その割合は、授業科目の性質に応じて次のように決められています。

(1単位あたり)

授業科目	授業時間	自学時間	総学習時間
講義・演習	15時間	30時間	45時間
実習	30時間	15時間	45時間
実技	30時間		30時間

講義科目とは、講義を中心として授業の行われる科目です。演習科目とは、パソコン演習、ゼミナール等のほかに演習を要する科目です。実技科目とは、スポーツ実習(実技科目)等の科目のことで

### 3. 授業時間数

本学では、45分を1時間とみなし、90分をもって1時限とします。したがって1時限は2時間に相当します。例えば、2単位の講義・演習科目は、教室では30時間(15時間×2単位)の授業を行うので、15時限(春学期又は秋学期)の授業による学習をします。

### 4. 時間割(校時)

本学における授業時間は次のとおりです。授業日と定期試験期間の時間割(校時)が異なりますので間違えないよう注意してください。定期試験は、通常校時内の試験校時で行われるのが原則です。

<通常校時>1コマ90分

時限	時間
1	9:15 ~ 10:45
2	10:55 ~ 12:25
昼休み(50分)	
3	13:15 ~ 14:45
4	14:55 ~ 16:25
5	16:30 ~ 18:00
6	18:20 ~ 19:50

<試験校時>1コマ60分

時限	時間
1	9:30 ~ 10:30
2	10:50 ~ 11:50
昼休み(40分)	
3	12:30 ~ 13:30
4	13:50 ~ 14:50
5	15:10 ~ 16:10
6	16:30 ~ 17:30

### 5. 休講および補講

大学は、特別な理由により臨時に全学休講、全学開講することがあります。また、教員の都合により担当科目の授業を休講にすることがあります。この場合、補講を行うことがあります。休講、補講は掲示板に掲示するほか本学のポータルサイトにも掲載しますので、日程を確認してください。

### 6. 協定大学間単位互換科目

本学は、新潟工科大学、長岡技術科学大学、新潟大学経済学部・経済科学部、新潟経営大学観光経営学部、新潟国際情報大学国際学部・経営情報学部、大正大学との間で単位互換協定を締結しています。

協定大学の提供科目および聴講手続きの通知は年度末の2月~3月に届くので、興味のある学生はポータルサイトまたは学務課掲示板を注視してください。なお、この制度に志願できる学年は2年生以上に限られます。

## 8 進級要件・卒業要件について

### 1. 3年次への進級要件

2年次から3年次へ進級するためには、次にあげる単位数を修得しなければなりません。ただし、これは年次進級への最低限の条件です。3年次以降の学習計画を考えた場合、十分な余裕をもって進級することが望ましいです。入学年度により進級要件に違いがありますので、必ず自分の入学年度と所属学科の進級要件を確認してください。

#### (1) 【進級要件】経済学部経済経営学科 2025（令和7）年度以降入学者適用

科目区分等		単位数
基礎科目		6以上
専門教育科目	経済分析と数学(2)、日本経済史(2)、経営管理論(2)、マーケティング論(2)、会計学入門(2)、銀行・証券・保険論(2)	2以上
上記を含めた合計		40以上

備考：社会人学生に進級要件は適用しない。

#### (2) 【進級要件】経済学部文化経済学科 2025（令和7）年度以降入学者適用

科目区分等		単位数
基礎科目		6以上
専門教育科目	異文化コミュニケーション(2)、文化政策論(2)、まちづくり論(2)、観光資源論(2)、健康づくりと運動プログラム(2)、スポーツ栄養学(2)	2以上
上記を含めた合計		40以上

備考：社会人学生に進級要件は適用しない。

### 2. 卒業の要件及び学位授与

卒業要件とは、本学に4年以上在学し、本学を卒業するために必要な最低単位数及び修得条件を定めたものです。みなさんはこの卒業要件を十分に考慮したうえで、在学期間の学習計画を立てることが必要になります。

卒業要件も進級要件同様に、入学年度、所属学科により異なります。自分の入学年度以外の卒業要件を参考とした履修計画を立てると4年間での卒業が危ぶまれます。

表で確認するとともに、不明な部分は随時クラス担任や学務課で確認してください。

本学の卒業要件を満たした者については、卒業を認定し学位を授与します。卒業を認定された者には、経済学部経済経営学科においては学士（経済経営学）、経済学部文化経済学科においては学士（文化経済学）の学位を授与します。

## 卒業要件科目及び単位一覧

### (1) 経済学部経済経営学科 2025年度(令和7年度)以降入学者用【一般学生用】

科目区分		選択・必修	必要最低単位	
基本教育科目	基礎科目	必修科目	8単位	20単位
		選択科目	12単位	
	教養科目	表現基礎力・外国語 (同一外国語から)	4単位 (注2)	16単位
		上記以外	12単位	
専門教育科目		必修科目	24単位	68単位
		選択必修科目	10単位 (注1)	
		選択必修科目 ・選択科目	34単位	
各科目区分の必要最低単位を超過して修得した単位		選択必修科目 ・選択科目	20単位(注3)	
卒業必要最低単位			124単位(注4)	

(注1) 専門教育科目の選択必修科目10単位には、「経済分析と数学」、「日本経済史」、「経営管理論」、「マーケティング論」、「会計学入門」、「銀行・証券・保険論」の中から1科目2単位以上を必ず修得すること。また、3・4年次に選択したコースの展開科目の中から選択必修科目として4科目8単位を必ず修得すること。

(注2) 英語、中国語、韓国語の中から、同一外国語の2科目4単位を必ず修得すること。

(注3) 他学科科目、他大学単位互換科目を含む。

(注4) 各科目区分の必要最低限とこれを超えて修得した単位の合計が124単位以上となることを、卒業要件とする。

卒業要件科目及び単位一覧

(2) 経済学部経済経営学科 2025年度(令和7年度)以降入学者用【社会人学生用】

科目区分		選択・必修	必要最低単位	
基本教育科目	基礎科目	選択科目	0単位	0単位
	教養科目	表現基礎力・外国語 (同一外国語から)	4単位 (注2)	16単位
		上記以外	12単位	
専門教育科目		必修科目	24単位	68単位
		選択必修科目	8単位 (注1)	
		選択必修科目 ・選択科目	36単位	
各科目区分の必要最低単位を超過して修得した単位		選択必修科目 ・選択科目	40単位(注3)	
卒業必要最低単位			124単位(注4)	

(注1) 3・4年次に選択したコースの展開科目の中から選択必修科目として4科目8単位を必ず修得すること。

(注2) 英語、中国語、韓国語の中から、同一外国語の2科目4単位を必ず修得すること。

(注3) 他学科科目、他大学単位互換科目を含む。

(注4) 各科目区分の必要最低限とこれを超えて修得した単位の合計が124単位以上となることを、卒業要件とする。

## 卒業要件科目及び単位一覧

### (3) 経済学部経済経営学科 2025年度(令和7年度)以降入学者用【留学生用】

科目区分		選択・必修	必要最低単位	
基本教育科目	基礎科目	必修科目	8単位	20単位
		選択科目	12単位	
	教養科目	必修科目 (日本語)	20単位 (注2)	26単位
		上記以外	6単位	
専門教育科目		必修科目	24単位	68単位
		選択必修科目	10単位 (注1)	
		選択必修科目 ・選択科目	34単位 (注4)	
各科目区分の必要最低単位を超過して修得した単位		選択必修科目 ・選択科目	10単位(注3)	
卒業必要最低単位			124単位(注5)	

(注1) 専門教育科目の選択必修科目10単位には、「経済分析と数学」、「日本経済史」、「経営管理論」、「マーケティング論」、「会計学入門」、「銀行・証券・保険論」の中から1科目2単位以上を必ず修得すること。

また、3・4年次に選択したコースの展開科目の中から選択必修科目として4科目8単位を必ず修得すること。

(注2) 「日本語IA」、「日本語IB」、「日本語IC」、「日本語IIA」、「日本語IIB」の5科目20単位を必ず修得すること。母語以外の表現基礎力・外国語は、選択科目として履修することができる。

(注3) 他学科科目、他大学単位互換科目を含む。

(注4) 各科目区分の必要最低限とこれを超えて修得した単位の合計が124単位以上となることを、卒業要件とする。

卒業要件科目及び単位一覧

(4) 経済学部文化経済学科 2025年度(令和7年度)以降入学者用【一般学生用】

科目区分		選択・必修	必要最低単位	
基本教育科目	基礎科目	必修科目	8単位	20単位
		選択科目	12単位	
	教養科目	表現基礎力・外国語 (同一外国語から)	4単位 (注2)	16単位
		上記以外	12単位	
専門教育科目		必修科目	24単位	68単位
		選択必修科目	10単位 (注1)	
		選択必修科目 ・選択科目	34単位	
各科目区分の必要最低単位を超過して修得した単位		選択必修科目 ・選択科目	20単位(注3)	
卒業必要最低単位			124単位(注4)	

(注1) 専門教育科目の選択必修科目12単位には、「異文化コミュニケーション」、「文化政策論」、「まちづくり論」、「観光資源論」、「健康づくりと運動プログラム」、「スポーツ栄養学」の中から1科目2単位以上を必ず修得すること。

また、3・4年次に選択したコースの展開科目の中から選択必修科目として4科目8単位を必ず修得すること。

(注2) 英語、中国語、韓国語の中から、同一外国語の2科目4単位を必ず修得すること。

(注3) 他学科科目、他大学単位互換科目を含む。

(注4) 各科目区分の必要最低限とこれを超えて修得した単位の合計が124単位以上となることを、卒業要件とする。

卒業要件科目及び単位一覧

(5) 経済学部文化経済学科 2025年度(令和7年度)以降入学者用【留学生用】

科目区分		選択・必修	必要最低単位	
基本教育科目	基礎科目	必修科目	8単位	20単位
		選択科目	12単位	
	教養科目	表現基礎力・外国語 (同一外国語から)	20単位 (注2)	26単位
		上記以外	6単位	
専門教育科目		必修科目	24単位	68単位
		選択必修科目	10単位 (注1)	
		選択必修科目 ・選択科目	34単位	
各科目区分の必要最低単位を超過 して修得した単位		選択必修科目 ・選択科目	10単位(注3)	
卒業必要最低単位			124単位(注4)	

- (注1) 専門教育科目の選択必修科目10単位には、「異文化コミュニケーション」、「文化政策論」、「まちづくり論」、「観光資源論」、「健康づくりと運動プログラム」、「スポーツ栄養学」の中から1科目2単位以上を必ず修得すること。  
また、3・4年次に選択したコースの展開科目の中から選択必修科目として4科目8単位を必ず修得すること。
- (注2) 「日本語ⅠA」、「日本語ⅠB」、「日本語ⅠC」、「日本語ⅡA」、「日本語ⅡB」の5科目20単位を必ず修得すること。母語以外の表現基礎力・外国語は、選択科目として履修することができる。
- (注3) 他学科科目、他大学単位互換科目を含む。
- (注4) 各科目区分の必要最低限とこれを超えて修得した単位の合計が124単位以上となることを、卒業要件とする。

- ①アクティブな授業で、人間力・自己表現力が身に付く…基礎ゼミナール、パソコン演習など
- ②まちづくりを実践的に学べる地域実践教育…地域理解ゼミナール、新潟の企業を知る、専門ゼミナールなど
- ③卒業後の進路を考え学ぶうちに身につく社会人基礎力…キャリアデザイン、インターンシップなど
- ④多様な学生の要望に対応した特別プログラム…アドバンスト・プログラム、成長実感プログラム

基礎科目群と教養科目群からの知識という栄養をもらいながら、  
専門科目群の知識は涵養され、「経済学・経営学」の学問の花が咲きます。

### ワタシと社会をつなぐ未来を探求 ～経済学の視点を中心に据えて～ 経済分析・未来予測コース

アドバンスト・ミクロ経済学 計量経済学  
アドバンスト・マクロ経済学 経済成長論  
財政学 環境経済学 アジア経済論  
開発経済学 ゲーム理論 国際経済学  
地域経済学 企業経済学 地方財政論  
日本経済論 公共経済学

\*専門ゼミナールⅠ \*専門ゼミナールⅡ  
\*専門ゼミナールⅢ \*専門ゼミナールⅣ

### 「ヒト」「モノ」「情報」を活用した 企業経営の現状と将来を探求 企業経営・情報戦略コース

経営組織論 組織行動論 経営戦略論  
起業論 商品開発論 人的資源管理  
知的財産論 ビジネス演習

\*専門ゼミナールⅠ \*専門ゼミナールⅡ  
\*専門ゼミナールⅢ \*専門ゼミナールⅣ

### 「カネ」の流れから「私たちの生活」と 「企業経営の姿」を探求 企業会計・金融制度コース

金融論 国際金融論 税務会計論  
経営分析論 財務諸表論 会計監査論  
管理会計論 ファイナンシャル・プランニング

\*専門ゼミナールⅠ \*専門ゼミナールⅡ  
\*専門ゼミナールⅢ \*専門ゼミナールⅣ

4  
年次

3  
年次

2  
年次

1  
年次

インターンシップ  
キャリアデザインⅢ

\*基礎ゼミナールⅢ 日本語表現  
\*基礎ゼミナールⅣ

○新潟の企業を知る  
キャリアデザインⅡ

パソコン演習Ⅲ  
パソコン演習Ⅳ  
データサイエンス入門

\*基礎ゼミナールⅠ 生活学Ⅰ  
\*基礎ゼミナールⅡ 生活学Ⅱ  
○大学生活と自己理解Ⅰ 物理と化学  
○大学生活と自己理解Ⅱ

キャリアデザインⅠ ○パソコン演習Ⅰ  
○パソコン演習Ⅱ

アドバンストクラス演習ⅢA アドバンストクラス演習ⅢB  
成長実感クラスⅢA 成長実感クラスⅢB

\*ミクロ経済学 中小企業論  
\*マクロ経済学 ◎経営管理論  
統計データ分析演習 会社法 ビジネス法務  
計量経済分析基礎 ◎マーケティング論  
◎日本経済史 情報処理演習Ⅱ  
西洋経済史 社会調査法  
労働経済学 生成AIと情報倫理  
流通システム論  
リーダーシップ論

簿記Ⅲ 簿記Ⅳ  
◎銀行・証券・保険論  
原価計算論  
金融リテラシー  
証券外務  
会計学  
不動産管理論

\*基礎ミクロ経済学 \*経営学入門  
\*基礎マクロ経済学 企業論  
統計学 民法  
◎経済分析と数学 経営情報論  
情報処理演習Ⅰ

○簿記Ⅰ  
○簿記Ⅱ  
◎会計学入門  
簿記演習

\*地域理解ゼミナールⅢ  
アドバンストクラス演習ⅡA  
アドバンストクラス演習ⅡB  
成長実感クラスⅡA  
成長実感クラスⅡB

\*地域理解ゼミナールⅠ  
\*地域理解ゼミナールⅡ  
ボランティア演習Ⅰ  
ボランティア演習Ⅱ  
アドバンストクラス演習ⅠA  
アドバンストクラス演習ⅠB  
成長実感クラスⅠA  
成長実感クラスⅠB

英会話 日本語上級A  
基礎韓国語会話 日本語上級B  
韓国語会話 ビジネス日本語

英語表現 日本語ⅠA (文法・読解)  
英語購読 日本語ⅠB (作文・語彙)  
基礎中国語Ⅰ 日本語ⅠC (聴解・会話)  
基礎中国語Ⅱ 日本語ⅡA (文法)  
基礎韓国語Ⅰ 日本語ⅡB (読解他)  
基礎韓国語Ⅱ 日本語Ⅲ 日本語演習

日本文化経済視察研修  
外国文化経済視察研修

自然科学概論  
環境科学

法学 社会学  
日本国憲法  
男女共同参画社会論  
ヘルスサイエンス  
スポーツ実習Ⅰ  
スポーツ実習Ⅱ  
スポーツ実習Ⅲ  
スポーツ実習Ⅳ

哲学 文学 心理学  
東アジア理解講座  
世界史概論  
日本史  
生涯学習概論  
日本文化論  
デザイン演習Ⅰ  
デザイン演習Ⅱ  
デザイン演習Ⅲ

大学生生活

基礎学力

キャリア支援

情報基礎力

経済学系

経営学系

金融・会計系

学科共通・  
専門ゼミナール

表現基礎力・外国語

グローバル

自然

社会科学

人文科学

基礎科目

専門科目

教養科目

(1) 経済経営学科カリキュラム表および履修モデル<2025年度(令和7年度)以降入学者適用(一般学生・留学生)>

[\*:必修科目・○:履修指定科目・◎:進級選択必修科目・☆不開講科目・( )内の数字:単位数]【開講学期は、変更になる場合があります】

Table with columns for '科目区分' (Subject Division), '1年' (Year 1), '2年' (Year 2), and '3・4年' (Years 3-4). It lists various subjects like '基礎ゼミナール' (Basic Seminars), '英語' (English), '中国語' (Chinese), '韓国語' (Korean), '日本語' (Japanese), '自然科学' (Natural Science), '社会科学' (Social Science), and '人文科学' (Humanities).

備考
基礎ゼミナールⅠ、基礎ゼミナールⅡ、基礎ゼミナールⅢ、基礎ゼミナールⅣの4科目8単位が必修科目です。
基礎科目から12単位以上を修得してください。12単位を超えて修得した単位も、卒業に最低限必要な単位数の合計(124単位)に算入します。

Table with columns for '科目区分' (Subject Division), '1年' (Year 1), '2年' (Year 2), and '3・4年' (Years 3-4). It lists advanced subjects like '学術共通科目' (Academic Common Subjects), '経済学系科目' (Economics Subjects), '経営学系科目' (Business Administration Subjects), and '金融系科目' (Finance Subjects).

備考
専門教育科目では、基礎ゼミナールⅠ～Ⅳの12科目24単位は必修科目です。
3年次進級要件として、◎印の選択必修科目の経済分析と数学、日本経済史、マーケティング論、経営管理論、会計学入門、銀行・証券・保険論の中から1科目2単位以上を必ず修得してください。

- 重要事項1: 基本教育科目、専門教育科目それぞれの必要最低単位数の要件を満たし、かつ卒業に最低限必要な総修得単位数合計124単位を修得することが卒業要件です。
重要事項2: 他学系科目、他大学単位互換科目の修得単位は、卒業に最低限必要な単位数の合計124単位に算入します。
重要事項3: 3年次進級要件および卒業要件は、必ず「履修の手引き」を確認してください。

科目区分		授業科目と標準履修年次及び開講学期									
		1年		2年		3・4年					
		春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期				
基本 教育 科目	基礎 科目	[FS] 大学生活	BFS100R * 基礎ゼミナールⅠ(2) BFS102S ○ 大学生活と自己理解Ⅰ(1) 【新卒大で何をいかに学ぶか】	BFS101R * 基礎ゼミナールⅡ(2) BFS103S ○ 大学生活と自己理解Ⅱ(1) 【新卒大で何をいかに学ぶか】	BFS200R * 基礎ゼミナールⅢ(2)	BFS201R * 基礎ゼミナールⅣ(2)					
		[FL] 基礎学力	BFL100G 生活数学Ⅰ(2)	BFL101G ☆ 生活数学Ⅱ(2) BFL102G 物理と化学(2)	BFL200G 日本語表現(2)						
		[FC] キャリア支援		BFC100G キャリアデザインⅠ(2)		BFC200S ○ 新潟の企業を知る(2) BFC201G キャリアデザインⅡ【自己分析】(2)		BFC300G キャリアデザインⅢ(2) 道年			
		[FI] 情報基礎力	BF1100S ○ パソコン演習Ⅰ【WORD】(2)	BF1101S ○ パソコン演習Ⅱ【EXCEL基礎】(2)	BF1200G パソコン演習Ⅲ【EXCEL応用】(2)	BF1201G ☆ パソコン演習Ⅳ【データベース】(2) BF1202G ☆ データサイエンス入門(2)		BF3010G インターンシップ(2)・・・4年次			
	教 養 科 目	国際 化 対 応	[LE] 英語	BLE100G 英語表現(2)	BLE101G 英語講義(2)	BLE200G 英会話(2)					
			[LO] 中国語	BLC110G 基礎中国語Ⅰ(2)	BLC111G 基礎中国語Ⅱ(2)						
			[LK] 韓国語	BLK120G 基礎韓国語Ⅰ(2)	BLK121G 基礎韓国語Ⅱ(2)	BLK220G 基礎韓国語会話(2)	BLK221G 韓国語会話(2)				
			[LJ] 日本語	BLJ130R * 日本語ⅠA【文法・読解】(4) BLJ131R * 日本語ⅠB【作文・語彙】(4) BLJ132R * 日本語ⅠC【聴解・会話】(4) BLJ133R * 日本語ⅡA【文法】(4) BLJ134R * 日本語ⅡB【読解他】(4) BLJ135G 日本語Ⅲ(4)	BLJ136G 日本語演習(4)	BLJ230G 日本語上級A(2)	BLJ231G 日本語上級B(2) BLJ232G ビジネス日本語(2)				
			[LG] グローバル		BLG140G 日本文化経済視察研修(2) BLG141G 外国文化経済視察研修(2)						
		[LN] 自然科学	BLN100G 自然科学概論(2)	BLN101G 環境科学(2)							
[LS] 社会科学	BLS100G 法学(2) BLS102G 社会学(2) BLS104G スポーツ実習Ⅰ【陸上】(1)	BLS101G 日本国憲法(2) BLS105G スポーツ実習Ⅱ【卓球・バドミントン】(1) BLS108G ヘルスサイエンス(2)	BLS106G ☆ スポーツ実習Ⅲ【ソフトボール】(1) BLS107G ☆ スポーツ実習Ⅳ【サッカー】(1)	BLS103G ☆ 男女共同参画社会論(2)							
[LH] 人文科学	BLH100G 東アジア理解講座【歴史・文明・自然・環境】(2) BLH104G ☆ 文学(2) BLH108G デザイン演習Ⅰ【チラシ・ポスター】(2)	BLH101G 世界史概論(2) BLH105G 心理学(2) BLH109G デザイン演習Ⅱ【広報誌】(2)	BLH102G 日本史(2) BLH106G 哲学(2) BLH200G デザイン演習Ⅲ【動画制作】(2)・・・2年次	BLH103G 生産学習概論(2) BLH107G 日本文化論(2)							
専 門 教 育 科 目	[EG] 学科共通科目	SEG100G ☆ ボランティア演習Ⅰ(2) SEG102G アドバンストクラス演習ⅠA(2) SEG104G 成長実感クラスⅠA(1)	SEG101G ☆ ボランティア演習Ⅱ(2) SEG103G アドバンストクラス演習ⅠB(2) SEG105G 成長実感クラスⅠB(1)	SEG200G アドバンストクラス演習ⅡA(2) SEG203G 成長実感クラスⅡA(1)	SEG201G アドバンストクラス演習ⅡB(2) SEG204G 成長実感クラスⅡB(1)	SEG300G アドバンストクラス演習ⅢA(2) SEG302G 成長実感クラスⅢA(1)	SEG301G アドバンストクラス演習ⅢB(2) SEG303G 成長実感クラスⅢB(1)				
	[EE] 経済学系科目	SEE100R * 基礎ミクロ経済学(2) SEE102G 統計学(2)	SEE101R * 基礎マクロ経済学(2) SEE103E ◎ 経済分析と数学(2)	SEE200R * ミクロ経済学(2) SEE202G 統計データ分析演習(2) SEE204E ◎ 日本経済史(2)	SEE201R * マクロ経済学(2) SEE203G 計量経済分析基礎(2) SEE205G 西洋経済史(2) SEE206G 労働経済学(2)	SEE300G アドバンストマクロ経済学(2) SEE302G 計量経済学(2) SEE304G アジア経済論(2) SEE306G 経済成長論(2) SEE308G 企業経済学(2) SEE310G 国際経済学(2) SEE312G 日本経済論(2) SEE314G 地方財政論(2)	SEE301G アドバンストミクロ経済学(2) SEE303G 環境経済学(2) SEE305G 開発経済学(2) SEE307G ゲーム理論(2) SEE309G 地域経済学(2) SEE311G 財政学(2) SEE313G 公共経済学(2)				
	[EB] 経営学系科目	SEB100R * 経営学入門(2)	SEB101G 企業論(2) SEB102G 民法(2) SEB103G 経営情報論(2) SEB104G 情報処理演習Ⅰ(2)	SEB200G 中小企業論(2) SEB202G 会社法(2) SEB204E ◎ マーケティング論(2) SEB206G 情報処理演習Ⅱ(2) SEB208G 生成AIと情報倫理(2) SEB209G リーダーシップ論(2)	SEB201E ◎ 経営管理論(2) SEB203G ビジネス法務(2) SEB205G 社会調査法(2) SEB207G 流通システム論(2)	SEB300G 経営組織論(2) SEB302G 経営戦略論(2) SEB304G 商品開発論(2) SEB306G 人的資源管理(2)	SEB301G 組織行動論(2) SEB303G 起業論(2) SEB305G ビジネス演習(2) SEB307G 知的財産論(2)				
	[EF] 金融系科目	SEF100S ○ 簿記Ⅰ(2)	SEF101S ○ 簿記Ⅱ(2) SEF102E ◎ 会計学入門(2) SEF103G 簿記演習(2)	SEF200G 簿記Ⅲ(2) SEF202E ☆ 銀行・証券・保険論(2) SEF204G 金融リテラシー(2) SEF206G 会計学(2)	SEF201G 簿記Ⅳ(2) SEF203G 原簿計算論(2) SEF205G ☆ 証券外務(2) SEF207G ☆ 不動産管理論(2)	SEF300G 管理会計論(2) SEF302G 経営分析論(2) SEF304G 金融論(2)	SEF301G 財務諸表論(2) SEF303G 会計監査論(2) SEF305G 国際金融論(2) SEF306G 税務会計論(2) SEF307G ファイナンシャル・プランニング(2)				
	[ES] 専門ゼミナール科目	SES100R * 地域理解ゼミナールⅠ(2)	SES101R * 地域理解ゼミナールⅡ(2)	SES200R * 地域理解ゼミナールⅢ(2)		SES300R * 専門ゼミナールⅠ(2)・・・3年 SES400R * 専門ゼミナールⅢ(2)・・・4年	SES301R * 専門ゼミナールⅡ(2)・・・3年 SES401R * 専門ゼミナールⅣ(2)・・・4年				

基礎科目群と教養科目群からの知識という栄養をもらいながら、  
専門科目群の知識は涵養され、「経済学・経営学」の学問の花が咲きます。

- ①アクティブな授業で、人間力・自己表現力が身に付く…基礎ゼミナール、パソコン演習など
- ②まちづくりを実践的に学べる地域実践教育…地域理解ゼミナール、新潟の企業を知る、専門ゼミナールなど
- ③卒業後の進路を考え学ぶうちに身につく社会人基礎力…キャリアデザイン、インターンシップなど
- ④多様な学生の要望に対応した特別プログラム…アドバンスト・プログラム、成長実感プログラム

ワタシと社会をつなぐ未来を探求  
～経済学の視点を中心に据えて～  
**経済分析・未来予測コース**

アドバンスト・ミクロ経済学 計量経済学  
アドバンスト・マクロ経済学 経済成長論  
財政学 環境経済学 アジア経済論  
開発経済学 ゲーム理論 国際経済学  
地域経済学 企業経済学 地方財政論  
日本経済論 公共経済学

「ヒト」「モノ」「情報」を活用した  
企業経営の現状と将来を探求  
**企業経営・情報戦略コース**

経営組織論 組織行動論 経営戦略論  
起業論 商品開発論 人的資源管理  
知的財産論 ビジネス演習

「カネ」の流れから「私たちの生活」と  
「企業経営の姿」を探求  
**企業会計・金融制度コース**

金融論 国際金融論 税務会計論  
経営分析論 財務諸表論 会計監査論  
管理会計論 ファイナンシャル・プランニング

4  
年次

\*専門ゼミナールⅠ \*専門ゼミナールⅡ  
\*専門ゼミナールⅢ \*専門ゼミナールⅣ

\*専門ゼミナールⅠ \*専門ゼミナールⅡ  
\*専門ゼミナールⅢ \*専門ゼミナールⅣ

\*専門ゼミナールⅠ \*専門ゼミナールⅡ  
\*専門ゼミナールⅢ \*専門ゼミナールⅣ

日本文化経済視察研修  
外国文化経済視察研修

3  
年次

インターンシップ  
キャリアデザインⅢ

アドバンストクラス演習ⅢA アドバンストクラス演習ⅢB  
成長実感クラスⅢA 成長実感クラスⅢB

自然科学概論  
環境科学

2  
年次

基礎ゼミナールⅢ  
基礎ゼミナールⅣ

日本語表現

新潟の企業を知る  
キャリアデザインⅡ

パソコン演習Ⅲ  
パソコン演習Ⅳ  
データサイエンス入門

\*ミクロ経済学 中小企業論  
\*マクロ経済学 経営管理論  
統計データ分析演習 会社法 ビジネス法務  
計量経済分析基礎 マーケティング論  
日本経済史 情報処理演習Ⅱ  
西洋経済史 社会調査法  
労働経済学 生成AIと情報倫理  
流通システム論  
リーダーシップ論

簿記Ⅲ 簿記Ⅳ  
銀行・証券・保険論  
原価計算論  
金融リテラシー  
証券外務  
会計学  
不動産管理論

\*地域理解ゼミナールⅢ  
アドバンストクラス演習ⅡA  
アドバンストクラス演習ⅡB  
成長実感クラスⅡA  
成長実感クラスⅡB

英会話 日本語上級A  
基礎韓国語会話 日本語上級B  
韓国語会話 ビジネス日本語

法学 社会学  
日本国憲法  
男女共同参画社会論  
ヘルスサイエンス  
スポーツ実習Ⅰ  
スポーツ実習Ⅱ  
スポーツ実習Ⅲ  
スポーツ実習Ⅳ

1  
年次

基礎ゼミナールⅠ  
基礎ゼミナールⅡ  
大学生活と自己理解Ⅰ  
大学生活と自己理解Ⅱ

生活数学Ⅰ  
生活数学Ⅱ  
物理と化学

キャリアデザインⅠ

パソコン演習Ⅰ  
パソコン演習Ⅱ

\*基礎ミクロ経済学 \*経営学入門  
\*基礎マクロ経済学 企業論  
統計学 民法  
経済分析と数学 経営情報論  
情報処理演習Ⅰ

簿記Ⅰ  
簿記Ⅱ  
会計学入門  
簿記演習

\*地域理解ゼミナールⅠ  
\*地域理解ゼミナールⅡ  
ボランティア演習Ⅰ  
ボランティア演習Ⅱ  
アドバンストクラス演習ⅠA  
アドバンストクラス演習ⅠB  
成長実感クラスⅠA  
成長実感クラスⅠB

英語表現 日本語ⅠA (文法・読解)  
英語購読 日本語ⅠB (作文・語彙)  
基礎中国語Ⅰ 日本語ⅠC (聴解・会話)  
基礎中国語Ⅱ 日本語ⅡA (文法)  
基礎韓国語Ⅰ 日本語ⅡB (読解他)  
基礎韓国語Ⅱ 日本語Ⅲ 日本語演習

哲学 文学 心理学  
東アジア理解講座  
世界史概論  
日本史  
生涯学習概論  
日本文化論  
デザイン演習Ⅰ  
デザイン演習Ⅱ  
デザイン演習Ⅲ

大学生生活

基礎学力

経済学系

経営学系

金融・会計系

学科共通・  
専門ゼミナール

表現基礎力・外国語

グローバル

自然

キャリア支援

情報基礎力

社会科学

人文科学

基礎科目

専門科目

教養科目

## (2) 経済経営学科カリキュラム表および履修モデル&lt;2025年度(令和7年度)以降入学者適用(社会人学生)&gt;

【\*:必修科目・★不開講科目・( )内の数字:単位数】【開講学期は、変更になる場合があります】

科目区分		授業科目と標準履修年次及び開講学期							
		1年		2年		3・4年			
		春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期		
基礎科目	大学生生活	基礎ゼミナールⅠ(2)	基礎ゼミナールⅡ(2)	基礎ゼミナールⅢ(2)	基礎ゼミナールⅣ(2)				
		大学生生活と自己理解Ⅰ(1) [新産大で何をいかに学ぶか] 生活数学Ⅰ(2)	大学生生活と自己理解Ⅱ(1) [新産大で何をいかに学ぶか] ★生活数学Ⅱ(2) 物理と化学(2)	日本語表現(2)					
		キャリア支援	キャリアデザインⅠ(2)		新潟の企業を知る(2) キャリアデザインⅡ[自己分析](2)		キャリアデザインⅢ(2)		
		情報基礎力	パソコン演習Ⅰ[WORD](2)	パソコン演習Ⅱ[EXCEL基礎](2)	パソコン演習Ⅲ[EXCEL応用](2)	★パソコン演習Ⅳ[データベース](2) ★データサイエンス入門(2)		インターンシップ(2)…3年次	
基本教育科目	国際化対応	英語	英語表現(2)	英語講読(2)	英会話(2)				
		中国語	基礎中国語Ⅰ(2)	基礎中国語Ⅱ(2)					
		韓国語	基礎韓国語Ⅰ(2)	基礎韓国語Ⅱ(2)	基礎韓国語会話(2)	韓国語会話(2)			
		日本語	*日本語ⅠA[文法・読解](4) *日本語ⅠB[作文・語彙](4) *日本語ⅠC[聴解・会話](4) *日本語ⅡA[文法](4) *日本語ⅡB[読解他](4) 日本語Ⅲ(4)	日本語演習(4)	日本語上級A(2)	日本語上級B(2) ビジネス日本語(2)			
		グローバル		日本文化経済視察研修(2) 外国文化経済視察研修(2)					
	自然科学	自然科学概論(2)	環境科学(2)						
	社会科学	法学(2) 社会学(2) スポーツ実習Ⅰ[陸上](1)	日本国憲法(2) スポーツ実習Ⅱ[卓球・バドミントン](1) ヘルスサイエンス(2)	★スポーツ実習Ⅲ[ソフトボール](1) ★スポーツ実習Ⅳ[サッカー](1)	★男女共同参画社会論(2)				
	人文学	★東アジア理解講座[歴史・文明・自然・環境](2) 文学(2) デザイン演習Ⅰ[テラシ・ポスター](2)	世界史概論(2) 心理学(2) デザイン演習Ⅱ[広報誌](2)	日本史(2) 哲学(2) デザイン演習Ⅲ[動画制作](2)・・・2年次	生涯学習概論(2) 日本文化論(2)				
	社会人学生は、基礎科目において卒業要件として必ず修得しなければならない授業科目はありませんので、各自必要に応じて単位修得してください。基礎科目において修得した単位数も、卒業に最低限必要な合計単位数(124単位)に算入します。								
	基本教育科目、教養科目の外国科目(表現基礎力・外国語)では、日本人学生(社会人学生含む)は同一外国語の中から最低2科目4単位を選択し必ず修得してください。 教養科目から、日本人学生(社会人学生含む)は語学を含む合計で16単位以上を修得してください。それぞれ合計単位を超えて修得した単位も卒業に最低限必要な単位数の合計(124単位)に算入します。								
科目区分		授業科目と標準履修年次及び開講学期							
		1年		2年		3・4年			
		春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期		
専門教育科目	学科共通科目	★ボランティア演習Ⅰ(2) アドバンストクラス演習ⅠA(2)	★ボランティア演習Ⅱ(2) アドバンストクラス演習ⅠB(2)	アドバンストクラス演習ⅡA(2)	アドバンストクラス演習ⅡB(2)	アドバンストクラス演習ⅢA(2)	アドバンストクラス演習ⅢB(2)		
		成長実感クラスⅠA(1)	成長実感クラスⅠB(1)	成長実感クラスⅡA(1)	成長実感クラスⅡB(1)	成長実感クラスⅢA(1)	成長実感クラスⅢB(1)		
	経済学系科目	*基礎ミクロ経済学(2) 統計学(2)	*基礎マクロ経済学(2) 経済分析と数学(2)	*ミクロ経済学(2) 統計データ分析演習(2) 日本経済史(2)	*マクロ経済学(2) 計量経済分析基礎(2) 西洋経済史(2) 労働経済学(2)	★未 来 経 済 予 測 分 析 Ⅰ ・ ス 	アドバンストマクロ経済学(2) 計量経済学(2) アジア経済論(2) 経済成長論(2) 企業経済学(2) 国際経済学(2) 日本経済論(2) 地方財政論(2)	アドバンストミクロ経済学(2) 環境経済学(2) 開発経済学(2) ゲーム理論(2) 地域経済学(2) 財政学(2) 公共経済学(2)	
	経営学系科目	*経営学入門(2)	企業論(2) 民法(2) 経営情報論(2) 情報処理演習Ⅰ(2)	★基 幹 科 目	中小企業論(2) 会社法(2) マーケティング論(2) 情報処理演習Ⅱ(2) 生成AⅠと情報倫理(2) リーダーシップ論(2)	経営管理論(2) ビジネス法務(2) 社会調査法(2) 流通システム論(2)	★情 報 企 業 略 略 Ⅰ ・ ス 	経営組織論(2) 経営戦略論(2) 商品開発論(2) 人的資源管理(2)	組織行動論(2) 起業論(2) ビジネス演習(2) 知的財産論(2)
	金融系科目	簿記Ⅰ(2)	簿記Ⅱ(2) 会計学入門(2) 簿記演習(2)	★金 融 企 業 度 度 金 計 Ⅰ ・ ス	簿記Ⅲ(2) ★銀行・証券・保険論(2) ★金融リテラシー(2) 会計学(2)	簿記Ⅳ(2) 原簿計算論(2) ★証券外務(2) ★不動産管理論(2)	★金 融 企 業 度 度 金 計 Ⅰ ・ ス	管理会計論(2) 経営分析論(2) 金融論(2)	財務諸表論(2) 会計監査論(2) 国際金融論(2) 税務会計論(2) ファイナンシャル・プランニング(2)
専門ゼミナール科目	*地域理解ゼミナールⅠ(2)	*地域理解ゼミナールⅡ(2)	*地域理解ゼミナールⅢ(2)		*専門ゼミナールⅠ(2)・・・3年 *専門ゼミナールⅢ(2)・・・4年	*専門ゼミナールⅡ(2)・・・3年 *専門ゼミナールⅣ(2)・・・4年			
専門教育科目では、基礎ミクロ経済学、基礎マクロ経済学、経営学入門、ミクロ経済学、マクロ経済学、地域理解ゼミナールⅠ～Ⅲ、専門ゼミナールⅠ～Ⅳの12科目24単位は必修科目です。 3・4年次に選択したコースの展開科目の中から4科目8単位を必ず修得してください。その他、専門教育科目の中から36単位以上を選択し必ず修得してください。 専門教育科目から68単位以上を修得してください。68単位を超えて修得した単位も卒業に最低限必要な単位数の合計(124単位)に算入します。									

重要事項1: 基本教育科目、専門教育科目それぞれの必要最低単位数の要件を満たし、かつ卒業に最低限必要な総修得単位数合計124単位を修得することが卒業要件です。  
重要事項2: 他学科科目、他大学単位互換科目の修得単位は、卒業に最低限必要な単位数の合計124単位に算入します。  
重要事項3: 卒業要件は、「履修の手引き」で確認してください。

科目区分		授業科目と標準履修年次及び開講学期							
		1年		2年		3・4年			
		春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期		
基本 科目	基礎 科目	[FS] 大学生活	BFS100R 基礎ゼミナールⅠ(2) BFS102S 大学生活と自己理解Ⅰ(1) [新卒大で何をいかに学ぶか]	BFS101R 基礎ゼミナールⅡ(2) BFS103S 大学生活と自己理解Ⅱ(1) [新卒大で何をいかに学ぶか]	BFS200R 基礎ゼミナールⅢ(2)	BFS201R 基礎ゼミナールⅣ(2)			
		[FL] 基礎学力	BFL100G 生活数学Ⅰ(2)	BFL101G ☆ 生活数学Ⅱ(2) BFL102G 物理と化学(2)	BFL200G 日本語表現(2)				
		[FC] キャリア支援		BFC100G キャリアデザインⅠ(2)		BFC200S 新潟の企業を知る(2) BFC201G キャリアデザインⅡ[自己分析](2)		BFC300G キャリアデザインⅢ(2) 道年	
		[FI] 情報基礎力	BF1100S パソコン演習Ⅰ[WORD](2)	BF1101S パソコン演習Ⅱ[EXCEL基礎](2)	BF1200G パソコン演習Ⅲ[EXCEL応用](2)	BF1201G ☆ パソコン演習Ⅳ[データベース](2) BF1202G ☆ データサイエンス入門(2)		BF1202G ☆ データサイエンス入門(2)	
	教養 科目	国際 化 対 応	[LE] 英語	BLE100G 英語表現(2)	BLE101G 英語講義(2)	BLE200G 英会話(2)			
			[LC] 中国語	BLC110G 基礎中国語Ⅰ(2)	BLC111G 基礎中国語Ⅱ(2)				
			[LK] 韓国語	BLK120G 基礎韓国語Ⅰ(2)	BLK121G 基礎韓国語Ⅱ(2)	BLK220G 基礎韓国語会話(2)	BLK221G 韓国語会話(2)		
			[LJ] 日本語	BLJ130R * 日本語ⅠA [文法・読解](4) BLJ131R * 日本語ⅠB [作文・語彙](4) BLJ132R * 日本語ⅠC [聴解・会話](4) BLJ133R * 日本語ⅡA [文法](4) BLJ134R * 日本語ⅡB [読解他](4) BLJ135G 日本語Ⅲ(4)	BLJ136G 日本語演習(4)	BLJ230G 日本語上級A(2)	BLJ231G 日本語上級B(2) BLJ232G ビジネス日本語(2)		
			[LG] グローバル		BLG140G 日本文化経済視察研修(2) BLG141G 外国文化経済視察研修(2)				
		[LN] 自然科学	BLN100G 自然科学概論(2)	BLN101G 環境科学(2)					
[LS] 社会科学	BLS100G 法学(2) BLS102G 社会学(2) BLS104G スポーツ実習Ⅰ[陸上](1)	BLS101G 日本国憲法(2) BLS105G スポーツ実習Ⅱ[卓球・バドミントン] BLS108G ヘルスサイエンス(2)	BLS106G ☆ スポーツ実習Ⅲ[ソフトボール](1) BLS107G ☆ スポーツ実習Ⅳ[サッカー](1)	BLS103G ☆ 男女共同参画社会論(2)					
[LH] 人文科学	BLH100G 東アジア理解講座[歴史・文明・自然・環境](2) BLH104G ☆ 文学(2) BLH108G デザイン演習Ⅰ[チラシ・ポスター](2)	BLH101G 世界史概論(2) BLH105G 心理学(2) BLH109G デザイン演習Ⅱ[広報誌](2)	BLH102G 日本史(2) BLH106G 哲学(2) BLH200G デザイン演習Ⅲ[動画制作](2)・・・2年次	BLH103G 生産学習概論(2) BLH107G 日本文化論(2)					
専 門 教 育 科 目	[EG] 学科共通科目	SEG100G ☆ ボランティア演習Ⅰ(2) SEG102G アドバンストクラス演習ⅠA(2) SEG104G 成長実感クラスⅠA(1)	SEG101G ☆ ボランティア演習Ⅱ(2) SEG103G アドバンストクラス演習ⅠB(2) SEG105G 成長実感クラスⅠB(1)	SEG200G アドバンストクラス演習ⅡA(2) SEG203G 成長実感クラスⅡA(1)	SEG201G アドバンストクラス演習ⅡB(2) SEG204G 成長実感クラスⅡB(1)	SEG300G アドバンストクラス演習ⅢA(2) SEG302G 成長実感クラスⅢA(1)	SEG301G アドバンストクラス演習ⅢB(2) SEG303G 成長実感クラスⅢB(1)		
	[EE] 経済学系科目	SEE100R * 基礎ミクロ経済学(2) SEE102G 統計学(2)	SEE101R * 基礎マクロ経済学(2) SEE103E 経済分析と数学(2)	SEE200R * ミクロ経済学(2) SEE202G 統計データ分析演習(2) SEE204E 日本経済史(2)	SEE201R * マクロ経済学(2) SEE203G 計量経済分析基礎(2) SEE205G 西洋経済史(2) SEE206G 労働経済学(2)	SEE300G アドバンストマクロ経済学(2) SEE302G 計量経済学(2) SEE304G アジア経済論(2) SEE306G 経済成長論(2) SEE308G 企業経済学(2) SEE310G 国際経済学(2) SEE312G 日本経済論(2) SEE314G 地方財政論(2)	SEE301G アドバンストミクロ経済学(2) SEE303G 環境経済学(2) SEE305G 開発経済学(2) SEE307G ゲーム理論(2) SEE309G 地域経済学(2) SEE311G 財政学(2) SEE313G 公共経済学(2)		
	[EB] 経営学系科目	SEB100R * 経営学入門(2)	SEB101G 企業論(2) SEB102G 民法(2) SEB103G 経営情報論(2) SEB104G 情報処理演習Ⅰ(2)	SEB200G 中小企業論(2) SEB202G 会社法(2) SEB204E マーケティング論(2) SEB206G 情報処理演習Ⅱ(2) SEB208G 生成AIと情報倫理(2) SEB209G リーダーシップ論(2)	SEB201E 経営管理論(2) SEB203G ビジネス法務(2) SEB205G 社会調査法(2) SEB207G 流通システム論(2)	SEB300G 経営組織論(2) SEB302G 経営戦略論(2) SEB304G 商品開発論(2) SEB306G 人的資源管理(2)	SEB301G 組織行動論(2) SEB303G 起業論(2) SEB305G ビジネス演習(2) SEB307G 知的財産論(2)		
	[EF] 金融系科目	SEF100S 簿記Ⅰ(2)	SEF101S 簿記Ⅱ(2) SEF102E 会計学入門(2) SEF103G 簿記演習(2)	SEF200G 簿記Ⅲ(2) SEF202E ☆ 銀行・証券・保険論(2) SEF204G 金融リテラシー(2) SEF206G 会計学(2)	SEF201G 簿記Ⅳ(2) SEF203G 原簿計算論(2) SEF205G ☆ 証券外務(2) SEF207G ☆ 不動産管理論(2)	SEF300G 管理会計論(2) SEF302G 経営分析論(2) SEF304G 金融論(2)	SEF301G 財務諸表論(2) SEF303G 会計監査論(2) SEF305G 国際金融論(2) SEF306G 証券会計論(2) SEF307G ファイナンシャル・プランニング(2)		
	[ES] 専門ゼミナール科目	SES100R * 地域理解ゼミナールⅠ(2)	SES101R * 地域理解ゼミナールⅡ(2)	SES200R * 地域理解ゼミナールⅢ(2)		SES300R * 専門ゼミナールⅠ(2)・・・3年 SES400R * 専門ゼミナールⅢ(2)・・・4年	SES301R * 専門ゼミナールⅡ(2)・・・3年 SES401R * 専門ゼミナールⅣ(2)・・・4年		

カリキュラムの特徴

- ①アクティブな授業で、人間力・自己表現力が身に付く…基礎ゼミナール、パソコン演習など
- ②まちづくりを実践的に学べる地域実践教育…地域理解ゼミナール、新潟の企業を知る、専門ゼミナールなど
- ③卒業後の進路を考え学ぶうちに身につく社会人基礎力…キャリアデザイン、インターンシップなど
- ④多様な学生の要望に対応した特別プログラム…アドバンスト・プログラム、成長実感プログラム

基礎科目群と教養科目群からの知識という栄養をもらいながら、  
専門科目群の知識は涵養され、「経済学・経営学」の学問の花が咲きます。

「創造的文化の発展」「伝統文化・歴史の継承」等、国際化社会の未来を探る  
**文化産業・国際理解コース**

観光・環境・福祉・まちづくりの視点で、持続可能な地域の未来を探る  
**持続可能な地域づくりコース**

「スポーツ文化の開花」「健康づくり」の視点で、地域活性化の未来を探る  
**スポーツ・健康経営コース**

4年次

コンテンツ産業論 知的財産論 比較文化論  
アジアのポップ・カルチャー 博物館経営論  
アジアの文化とビジネス事情

地方財政論 地域政策 地域経済学  
地域社会論 環境経済学 地域活性化と地域通貨  
グリーンツーリズム演習

健康経営論 スポーツ・マネジメント  
アシスタントマネジャー  
健康運動実践指導 健康づくりボランティア

専門ゼミナールⅠ 専門ゼミナールⅡ  
専門ゼミナールⅢ 専門ゼミナールⅣ

専門ゼミナールⅠ 専門ゼミナールⅡ  
専門ゼミナールⅢ 専門ゼミナールⅣ

専門ゼミナールⅠ 専門ゼミナールⅡ  
専門ゼミナールⅢ 専門ゼミナールⅣ

3年次

インターンシップ  
キャリアデザインⅢ

経営組織論 起業論 経営戦略論 ゲーム理論 金融論  
アドバンストクラス演習ⅢA アドバンストクラス演習ⅢB  
成長実感クラスⅢA 成長実感クラスⅢB

ミクロ経済学	日本のマンガ・アニメーション	SDGs入門	コンディショニング論	*文化経済学
マクロ経済学	◎文化政策論	非営利組織論	運動生理学	*文化産業論
マーケティング論	◎文化政策論	観光約款	スポーツバイオメカニクス	*地域理解ゼミナールⅢ
経営管理論	モンゴルの歴史と文化	旅行業法	スポーツコーチング実践Ⅰ	アドバンストクラス演習ⅡA
リーダーシップ論	西洋の芸術	旅行業務管理演習	スポーツコーチング実践Ⅱ	アドバンストクラス演習ⅡB
	世界文化遺産	地域振興と観光	筋力トレーニング演習	成長実感クラスⅡA
	博物館展示論	福祉住環境論	アクアピクス・水泳演習	成長実感クラスⅡB
		児童福祉	リズム運動実習	スポーツボランティア
		アグリビジネス論	子どものスポーツ	スポーツ行政論
		食環境づくり論	ウォーキング・ジョギング実習	救急蘇生演習

日本文化経済視察研修  
外国文化経済視察研修

自然科学概論  
環境科学

法学 社会学  
日本国憲法  
男女共同参画社会論  
ヘルスサイエンス  
スポーツ実習Ⅰ  
スポーツ実習Ⅱ  
スポーツ実習Ⅲ  
スポーツ実習Ⅳ

2年次

\*基礎ゼミナールⅢ 日本語表現  
\*基礎ゼミナールⅣ

○新潟の企業を知る  
キャリアデザインⅡ

パソコン演習Ⅲ  
パソコン演習Ⅳ  
データサイエンス入門

英会話 日本語上級A  
基礎韓国語会話 日本語上級B  
韓国語会話 ビジネス日本語

哲学 文学 心理学  
東アジア理解講座

1年次

\*基礎ゼミナールⅠ 生活数学Ⅰ  
\*基礎ゼミナールⅡ 生活数学Ⅱ  
○大学生活と自己理解Ⅰ 物理と化学  
○大学生活と自己理解Ⅱ

○パソコン演習Ⅰ  
○パソコン演習Ⅱ

*基礎ミクロ経済学	韓国文化事情	国内旅行業務	◎健康づくりと	*地域理解ゼミナールⅠ
*基礎マクロ経済学	中国語文化事情	国内旅行実務	運動プログラム	*地域理解ゼミナールⅡ
*経営学入門	欧米文化事情	◎まちづくり論	体力測定と評価	ボランティア演習Ⅰ
会計学入門	◎異文化コミュニケーション	◎観光資源論	スポーツ心理学	ボランティア演習Ⅱ
○簿記Ⅰ	越佐文化論	ユニバーサル	◎スポーツ栄養学	アドバンストクラス演習ⅠA
○簿記Ⅱ	日本の伝統芸能	デザインと福祉	からだの構造	アドバンストクラス演習ⅠB
	日本の芸術	東洋の芸術	食文化論	成長実感クラスⅠA
	博物館概論	日本の食糧事情	スポーツコーチング論	成長実感クラスⅠB

英語表現 日本語ⅠA (文法・読解)  
英語購読 日本語ⅠB (作文・語彙)  
基礎中国語Ⅰ 日本語ⅠC (聴解・会話)  
基礎中国語Ⅱ 日本語ⅡA (文法)  
基礎韓国語Ⅰ 日本語ⅡB (読解他)  
基礎韓国語Ⅱ 日本語Ⅲ 日本語演習

世界史概論  
日本史  
生涯学習概論  
日本文化論  
デザイン演習Ⅰ  
デザイン演習Ⅱ  
デザイン演習Ⅲ

大学生生活

基礎学力

経済経営系

文化産業・  
国際理解系

地域づくり系

スポーツ・  
健康経営系

学科共通・  
専門ゼミナール

表現基礎力・外国語

グローバル

自然

キャリア支援

情報基礎力

社会科学

人文科学

基礎科目

専門科目

教養科目

(2) 文化経済学カリキュラム表および履修モデル<2025年度(令和7年度)以降入学者適用(一般学生・留学生)>

[\*:必修科目・○:履修指定科目・◎:進級選択必修科目・☆:不開講科目・( )内の数字:単位数] [開講学期は、変更になる場合があります]

科目区分		授業科目と標準履修年次及び開講学期					
		1年		2年		3・4年	
		春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
基礎科目	大学生生活	*基礎ゼミナールⅠ(2) ○大学生生活と自己理解Ⅰ(1) 【新産大で何をいかに学ぶか】	*基礎ゼミナールⅡ(2) ○大学生生活と自己理解Ⅱ(1) 【新産大で何をいかに学ぶか】	*基礎ゼミナールⅢ(2)	*基礎ゼミナールⅣ(2)		
	基礎学力	生活数学Ⅰ(2)	★生活数学Ⅱ(2) 物理と化学(2)	日本語表現(2)			
	キャリア支援		キャリアデザインⅠ(2)			○新潟の企業を知る(2) キャリアデザインⅡ【自己分析】(2)	キャリアデザインⅢ(2)
	情報基礎力	○パソコン演習Ⅰ【WORD】(2)	○パソコン演習Ⅱ【EXCEL基礎】(2)	パソコン演習Ⅲ【EXCEL応用】(2)	★パソコン演習Ⅳ【データベース】(2) データサイエンス入門(2)		
基本教育科目	国際化対応	英語	英語表現(2)	英語講義(2)	英会話(2)		
		中国語	基礎中国語Ⅰ(2)	基礎中国語Ⅱ(2)			
		韓国語	基礎韓国語Ⅰ(2)	基礎韓国語Ⅱ(2)	基礎韓国語会話(2)	韓国語会話(2)	
		日本語	*日本語ⅠA【文法・読解】(4) *日本語ⅠB【作文・読解】(4) *日本語ⅠC【聴解・会話】(4) *日本語ⅡA【文法】(4) *日本語ⅡB【読解他】(4) 日本語Ⅲ(4)	日本語演習(4)	日本語上級A(2)	日本語上級B(2) ビジネス日本語(2)	
	グローバル		日本文化経済視察研修(2) 外国文化経済視察研修(2)				
	自然科学	自然科学概論(2)	環境科学(2)				
	社会科学	法学(2) 社会学(2) スポーツ実習Ⅰ【陸上】(1)	日本国憲法(2) スポーツ実習Ⅱ【卓球・バドミントン】(1) ヘルスサイエンス(2)	★スポーツ実習Ⅲ【ソフトボール】(1) スポーツ実習Ⅳ【サッカー】(1)	★男女共同参画社会論(2)		
	人文科学	★東アジア理解講座【歴史・文明・自然・環境】(2) 文学(2) デザイン演習Ⅰ【チラシ・ポスター】(2)	世界史概論(2) 心理学(2) デザイン演習Ⅱ【広報誌】(2)	日本史(2) 歴史(2) デザイン演習Ⅲ【動画制作】(2)・・・2年次	生涯学習概論(2) 日本文化論(2)		
	備考	基礎ゼミナールⅠ、基礎ゼミナールⅡ、基礎ゼミナールⅢ、基礎ゼミナールⅣの4科目8単位が必修科目です。 基礎科目から12単位以上を修得してください。12単位を超えて修得した単位も、卒業に最低限必要な単位数の合計(12.4単位)に算入します。 ○履修指定科目は、当該学年に必ず履修をしなければなりません。 ★教養科目【表現基礎力・外国語】では、日本人学生は同一外国語の中から最低2科目4単位を選択し必ず修得してください。 外国人留学生は、日本語ⅠA、日本語ⅠB、日本語ⅠC、日本語ⅡA、日本語ⅡBの5科目20単位が必修科目です。 教養科目から、日本人学生は合計で16単位以上、留学生は、合計で26単位以上を修得してください。それぞれ合計単位を超えて修得した単位も卒業に最低限必要な単位数の合計(12.4単位)に算入します。					

科目区分		授業科目と標準履修年次及び開講学期					
		1年		2年		3・4年	
		春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
専門教育科目	経済経営系科目	*基礎ミクロ経済学(2) *経営学入門(2) ○簿記Ⅰ(2)	*基礎マクロ経済学(2) 会計学入門(2) ○簿記Ⅱ(2)	ミクロ経済学(2) マーケティング論(2) リーダーシップ論(2)	マクロ経済学(2) 経営管理論(2)	経営組織論(2) 経営戦略論(2) 金融論(2)	起業論(2) ゲーム理論(2)
		★ボランティア演習Ⅰ(2) アドバンストクラス演習ⅠA(2)	★ボランティア演習Ⅱ(2) アドバンストクラス演習ⅠB(2)	*文化経済学(2) アドバンストクラス演習ⅡA(2)	*文化産業論(2) アドバンストクラス演習ⅡB(2)	アドバンストクラス演習ⅢA(2) 成長実感クラスⅢA(1)	アドバンストクラス演習ⅢB(2) 成長実感クラスⅢB(1)
	文化産業・国際理解系科目	韓国文化事情(2) 欧米文化事情(2) 越後文化論(2) 日本の芸術(2)	中国文化事情(2) ◎異文化コミュニケーション(2) 日本の伝統芸能(2) 東洋の芸術(2) 博物館概論(2)	日本のマンガ・アニメーション(2) モンゴルの歴史と文化(2) 西洋の芸術(2) 博物館展示論(2)	◎文化政策論(2) 世界文化遺産(2)	コンテンツ産業論(2) アジアのポップ・カルチャー(2) 博物館経営論(2)	知的財産論(2) 比較文化論(2) アジアの文化とビジネス事情(2)
		地域づくり系科目	国内旅行業務【国内観光資源】(2) 国内旅行業務【運賃・料金】(2) ◎観光資源論(2)	◎まちづくり論(2) ユニバーサルデザインと福祉(2)	SDGs入門(2) 観光約款(2) 旅行業法(2) 旅行業務管理演習(2)	非営利組織論(2) 地域振興と観光(2) 児童福祉(2) 食環境づくり論(2)	地域活性化と地域通貨(2) 地方財政論(2) インバウンド・ツーリズム論(2) 福祉ボランティア(2) グリーンツーリズム演習(2)
	スポーツ・健康経営系科目		体力測定と評価(2)●■▲	◎健康づくりと運動プログラム(2)● スポーツ心理学(2)●■▲ ◎スポーツ栄養学(2)●■▲ からだの構造(2)● スポーツコーチング論(2)●■▲	リズム運動実習(1)● ウォーキング・ジョギング実習(1)● スポーツコーチング実習Ⅰ(2)■▲ スポーツバイオメカニクス【運動力学】(2)●■▲ 筋力トレーニング演習(2)●■▲ 運動生理学(2)●■▲ スポーツボランティア(2) コンディショニング論(2)■▲ ※健康経営コース資格別対応科目●健康運動実践指導者●■ジュニアスポーツ指導員●▲アシスタントマネージャー	アクアビクス・水泳演習(2)● スポーツ医学(2)●■▲ スポーツコーチング実践Ⅱ(2)■▲ 子どものスポーツ(2)■ スポーツ行政論(2)■▲ 救急蘇生演習(2)●■▲	健康経営論(2) スポーツマネジメント(2)■▲ 健康運動実践指導(2) アシスタントマネージャー(2)▲
	専門ゼミナール科目	*地域理解ゼミナールⅠ(2)	*地域理解ゼミナールⅡ(2)	*地域理解ゼミナールⅢ(2)		*専門ゼミナールⅠ(2)・・・3年 *専門ゼミナールⅡ(2)・・・4年	*専門ゼミナールⅢ(2)・・・3年 *専門ゼミナールⅣ(2)・・・4年
	備考	専門教育科目では、基礎ミクロ経済学、基礎マクロ経済学、経営学入門、文化経済学、地域理解ゼミナールⅠ～Ⅲ、文化産業論、専門ゼミナールⅠ～Ⅳの12科目24単位は必修科目です。 3年次進級要件のひとつとして、◎印の選択必修科目の「異文化コミュニケーション」、「文化政策論」、「まちづくり論」、「健康づくりと運動プログラム」、「スポーツ栄養学」の中から1科目2単位以上を必ず修得してください。 3・4年次に選択したコースの履修科目の中から4科目8単位を必ず修得してください。その他、専門教育科目の中から3.4単位以上を選択し必ず修得してください。 専門教育科目から6.8単位以上を修得してください。6.8単位を超えて修得した単位も卒業に最低限必要な単位数の合計(12.4単位)に算入します。					

重要事項1：基本教育科目、専門教育科目それぞれの必要最低単位数の要件を満たし、かつ卒業に最低限必要な総修得単位数合計12.4単位を修得することが卒業要件です。  
重要事項2：他学教科科目、他学単位互換科目の修得単位は、卒業に最低限必要な単位数の合計12.4単位に算入します。  
重要事項3：3年次進級要件および卒業要件は、必ず「履修の手引き」で確認してください。

科目区分		授業科目と標準履修年次及び開講学期											
		1年		2年		3・4年							
		春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期						
B	基本教育科目	基礎科目	[FS] 大学生活	BFS100R * 基礎ゼミナールⅠ(2) BFS102S ○ 大学生活と自己理解Ⅰ(1) [新産大で何をいかに学ぶか]	BFS101R * 基礎ゼミナールⅡ(2) BFS103S ○ 大学生活と自己理解Ⅱ(1) [新産大で何をいかに学ぶか]	BFS200R * 基礎ゼミナールⅢ(2)	BFS201R * 基礎ゼミナールⅣ(2)						
			[FL] 基礎学力	BFL100G 生活数学Ⅰ(2)	BFL101G ☆ 生活数学Ⅱ(2) BFL102G 物理と化学(2)	BFL200G 日本語表現(2)							
			[FC] キャリア支援		BFC100G キャリアデザインⅠ(2)		BFC200S ○ 新商品の企業を知る(2) BFC201G キャリアデザインⅡ[自己分析](2)			BFC300G キャリアデザインⅢ(2)			
			[H] 情報基礎力	BF1100S ○ パソコン演習Ⅰ[WORD](2)	BF1101S ○ パソコン演習Ⅱ[EXCEL基礎](2)	BF1200G パソコン演習Ⅲ[EXCEL応用](2)	BF1201G ☆ パソコン演習Ⅳ[データベース](2) BF1202G ☆ データサイエンス入門(2)			BF1201G ☆ パソコン演習Ⅳ[データベース](2) BF1202G ☆ データサイエンス入門(2)	BF1201G ☆ パソコン演習Ⅳ[データベース](2) BF1202G ☆ データサイエンス入門(2)	BF1201G ☆ パソコン演習Ⅳ[データベース](2) BF1202G ☆ データサイエンス入門(2)	BF1201G ☆ パソコン演習Ⅳ[データベース](2) BF1202G ☆ データサイエンス入門(2)
			[LN] 自然科学	BLN100G 自然科学概論(2)	BLN101G 環境科学(2)								
		[LS] 社会科学	BLS100G 法学(2) BLS102G 社会学(2) BLS104G スポーツ実習Ⅰ[陸上](1)	BLS101G 日本国憲法(2) BLS105G スポーツ実習Ⅱ[卓球・バドミントン](1) BLS108G ヘルスサイエンス(2)	BLS106G ☆ スポーツ実習Ⅲ[ソフトボール](1) BLS107G ☆ スポーツ実習Ⅳ[サッカー](1)	BLS103G ☆ 男女共同参画社会論(2)							
		[LH] 人文科学	BLH100G 東アジア理解講座[歴史・文明・自然・環境](2) BLH104G ☆ 文学(2) BLH108G デザイン演習Ⅰ[チラシ・ポスター](2)	BLH101G 世界史概論(2) BLH105G 心理学(2) BLH109G 心療学Ⅱ[広報紙](2)	BLH102G 日本史(2) BLH106G 哲学(2) BLH200G デザイン演習Ⅱ[動画制作](2)・・・2年次	BLH103G 生涯学習概論(2) BLH107G 日本文化論(2)							
		[CE] 経済経営系科目	SCET00R * 基礎ミクロ経済学(2) SCET02R * 経営学入門(2) SCET04S ○ 簿記Ⅰ(2)	SCET01R * 基礎マクロ経済学(2) SCET03G 会計学入門(2) SCET05S ○ 簿記Ⅱ(2)	SCET00G ミクロ経済学(2) SCET02G マーケティング論(2) SCET04G リーダーシップ論(2)	SCET01G マクロ経済学(2) SCET03G 経営管理論(2)	SCET300G 経営概論(2) SCET302G 経営戦略論(2) SCET304G 金融論(2)	SCET301G 起業論(2) SCET303G ゲーム理論(2)					
		[CG] 学科共通科目	SCG100G ☆ ボランティア演習Ⅰ(2) SCG102G アドバンストクラス演習ⅠA(2) SCG104G 成長実感クラスⅠA(1)	SCG101G ☆ ボランティア演習Ⅱ(2) SCG103G アドバンストクラス演習ⅠB(2) SCG105G 成長実感クラスⅠB(1)	SCG200R * 文化経済学(2) SCG202G アドバンストクラス演習ⅡA(2) SCG204G 成長実感クラスⅡA(1)	SCG201R * 文化産業論(2) SCG203G アドバンストクラス演習ⅡB(2) SCG205G 成長実感クラスⅡB(1)	SCG300G アドバンストクラス演習ⅢA(2) SCG302G 成長実感クラスⅢA(1)	SCG301G アドバンストクラス演習ⅢB(2) SCG303G 成長実感クラスⅢB(1)					
		[CC] 文化産業・国際理解系科目	SCC100G 韓国文化事情(2) SCC102G 欧米文化事情(2) SCC104G 越後文化論(2) SCC106G 日本の芸術(2)	SCC101G 中国文化事情(2) SCC103E ◎ 異文化コミュニケーション(2) SCC105G 日本の伝統芸術(2) SCC107G 東洋の芸術(2) SCC108G 博物館概論(2)	SCC200G 日本のマンガ・アニメーション(2) SCC202G モンゴルの歴史と文化(2) SCC203G ☆ 西洋の芸術(2) SCC205G 博物館展示論(2)	SCC201E ◎ 文化政策論(2) SCC204G 世界文化遺産(2)	SCC300G コンテンツ産業論(2) SCC302G アジアのポップ・カルチャー(2) SCC304G 博物館経営論(2)	SCC301G 知的財産論(2) SCC303G 比較文化論(2) SCC305G アジアの文化とビジネス事情(2)					
[CR] 地域づくり系科目	SCR101G 国内旅行業務[国内観光資源](2) SCR102G 国内旅行業務[運賃・料金](2) SCR104E ◎ 観光資源論(2) SCR105G ☆ 食文化論(2)	SCR100E ◎ まちづくり論(2) SCR103G ユニバーサルデザインと福祉(2) SCR106G ☆ 日本の食料事情(2)	SCR200G SDGs入門(2) SCR202G 観光約款(2) SCR203G 旅行業法(2) SCR204G 旅行業務管理演習(2) SCR205G 福祉住環境論(2)	SCR201G 非営利組織論(2) SCR206G 児童福祉(2) SCR207G 地域振興と観光(2) SCR209G 食環境づくり論(2)	SCR300G 地域活性化と地域通貨(2) SCR302G 地方財政論(2) SCR305G 福祉ボランティア(2) SCR307G インバウンド・ツーリズム論(2) SCR308G グリーンツーリズム演習(2)	SCR301G 地域社会論(2) SCR303G 環境経済学(2) SCR304G 地域政策(2) SCR306G 地域経済学(2)							
[CH] スポーツ・健康経営系科目	SCH100G 体力測定と評価(2)●●▲	SCH101E ◎ 健康づくりと運動プログラム(2)● SCH102G ◎ スポーツ心理学(2)●●▲	SCH200G リズム運動実習(1)● SCH202G ウォーキング・ジョギング実習(1)● SCH204G スポーツコーチング実践Ⅰ(2)●▲ SCH206G スポーツバイオメカニクス(運動力学)(2)●●▲ SCH208G 筋力トレーニング演習(2)●●▲ SCH210G 運動生理学(2)●●▲ SCH212G スポーツボランティア(2) SCH213G コンディショニング論(2)●▲	SCH201G アクアビクス・水泳演習(2)● SCH203G スポーツ医学(2)●●▲ SCH205G スポーツコーチング実践Ⅱ(2)●▲ SCH207G 子どものスポーツ(2)● SCH209G スポーツ行政論(2)●▲ SCH211G 救急蘇生演習(2)●●▲	SCH300G 健康経営論(2) SCH302G スポーツマネジメント(2)●▲ SCH303G 健康運動実践指導(2) SCH304G アシスタントマネージャー(2)▲	SCH301G 健康づくりボランティア(2)							
[CS] 専門ゼミナール科目	SCS100R * 地域理解ゼミナールⅠ(2)	SCS101R * 地域理解ゼミナールⅡ(2)	SCS200R * 地域理解ゼミナールⅢ(2)	SCS300R * 専門ゼミナールⅠ(2)・・・3年 SCS400R * 専門ゼミナールⅢ(2)・・・4年	SCS301R * 専門ゼミナールⅡ(2)・・・3年 SCS401R * 専門ゼミナールⅣ(2)・・・4年								

## 博物館学芸員課程に関わる科目

	科目分類  (法令上の科目)	単 位	科目  (大学における 開講科目)		備 考	
			単 位	配 当 年 次		
必修科目	生涯学習概論	2	生涯学習概論	2	1	左記科目19単位を全て修得すること。
	博物館概論	2	博物館概論	2	1	
	博物館経営論	2	博物館経営論	2	3	
	博物館資料論	2	博物館資料論	2	1	
	博物館展示論	2	博物館展示論	2	2	
	博物館資料保存論	2	博物館資料保存論	2	2	
	博物館情報・メディア論	2	博物館情報・メディア論	2	1	
	博物館実習	3	博物館実習	3	3	
	博物館教育論	2	博物館教育論	2	1	
選択必修科目	文化史		日本史	2	1・2	左記科目の中から8単位(4科目)以上を修得すること。
			日本文化論	2	1	
			日本の伝統芸能	2	1・2	
	美術史		日本の芸術	2	1・2	
			東洋の芸術	2	1・2	
			西洋の芸術	2	2	
	考古学			—		
民俗学			越佐文化論	2	1・2	

経済学部(2025年度以降入学者)対象

令和7年度 資格取得に対する単位の認定、及び履修可能な上位科目 (1/2)

資 格		認 定 科 目 (単位数)		履修可能な上位科目 (単位数)
名 称	主 催 者	級 等	※認定する単位数の上限は、入学前に修得した資格の認定分も含めて20単位までとする。	
簿記検定	日本商工会議所	1 級	簿記Ⅰ(2)・簿記Ⅱ(2) 簿記Ⅲ(2)・簿記Ⅳ(2)	財務諸表論(2) 原価計算論(2)
		2 級・3 級	簿記Ⅰ(2)・簿記Ⅱ(2)	簿記Ⅲ(2)・Ⅳ(2)
簿記実務検定	(財)全国商業高等学校協会	1・2 級	簿記Ⅰ(2)・簿記Ⅱ(2)	簿記Ⅲ(2)・Ⅳ(2)
簿記能力検定	(財)全国経理教育協会	上級	簿記Ⅰ(2)・簿記Ⅱ(2) 簿記Ⅲ(2)・簿記Ⅳ(2)	財務諸表論(2) 原価計算論(2)
		1 級	簿記Ⅰ(2)・簿記Ⅱ(2)	簿記Ⅲ(2)・簿記Ⅳ(2)
リテールマーケティング (販売士) 検定試験	日本商工会議所	2 級以上	流通システム論(2)	
情報処理検定	(財)全国商業高等学校協会	3 級以上	パソコン演習Ⅰ(2) パソコン演習Ⅱ(2)	パソコン演習Ⅲ(2) パソコン演習Ⅳ(2)
情報処理活用能力検定 (J検) 【情報活用試験】	(財)専修学校教育振興会	2 級以上	パソコン演習Ⅰ(2) パソコン演習Ⅱ(2)	
		3 級	パソコン演習Ⅰ(2)	
Microsoft Office Specialist 【Specialist (スペシャリスト)】	マイクロソフト	W o r d	パソコン演習Ⅰ(2)	
		E x c e l	パソコン演習Ⅱ(2)	
日商PC検定試験	日本商工会議所	文書作成 3 級以上	パソコン演習Ⅰ(2)、パソコン演習Ⅲ(2)	
		データ活用 3 級以上	パソコン演習Ⅱ(2)、パソコン演習Ⅳ(2)	
マネジメント検定	一般社団法人 日本経営協会	3 級合格 以上	企業論(2) 経営学入門(2)、経営管理論(2) リーダーシップ論(2)	【以上から4単位】
		2 級合格 以上	会計学(2)、マーケティング論(2)、経営組織論(2) 組織行動論(2)、経営戦略論(2)、人的資源管理論(2)	【以上から4単位】
ERE経済学検定 総合ランクC以上でかつ右表の各 科目毎に認定されますが、科目区 分の認定条件はランクC以上であ ること。  受験一回の成績に付き、総合ラ ンクCの場合は合計4単位以下、 総合ランクB以上の場合は合計8 単位以下の認定となります。	特定非営利活動法人 日本経済学教育協会	ミク ロ 経 済 学	B以上(4)	ミクロ経済学(2) アドバンスミクロ経済学(2)
			C(2)	ミクロ経済学(2)
		マク ロ 経 済 学	B以上(4)	マクロ経済学(2) アドバンスマクロ経済学(2)
			C(2)	マクロ経済学(2)
ビジネス実務法務検定	東京商工会議所	3 級以上	ビジネス法務(2)	
福祉住環境 コーディネーター検定試験	東京商工会議所	3 級以上	福祉住環境論(2)	

経済学部(2025年度以降入学者)対象

令和7度 資格取得に対する単位の認定、及び履修可能な上位科目 (2/2)

資 格			認 定 科 目 (単位数) (※認定する単位数の上限は、入学前に修得した資格の認定分も含めて20単位までとする。)	履修可能な上位科目 (単位数)
名 称	主 催 者	級 等		
実用英語技能検定	(財)日本英語検定協会	2 級	英語表現(2) 英語講読(2)	/
TOEFL	ETS (Educational Testing Service)	iBT 54-70点		
TOEIC	(財)国際ビジネス コミュニケーション協会	550-749点		
中国語検定	一般財団法人 日本中国語検定協会	準4 級以上	基礎中国語Ⅰ(2) 基礎中国語Ⅱ(2)	/
「ハングル」能力検定	特定非営利活動法人 ハングル能力検定協会	4 級	基礎韓国語Ⅰ(2) 基礎韓国語Ⅱ(2)	基礎韓国語会話(2) 韓国語会話(2)
		3 級以上	基礎韓国語Ⅰ(2) 基礎韓国語Ⅱ(2) 基礎韓国語会話(2) 韓国語会話(2)	

# カリキュラムについて

## 1. カリキュラム表とは

カリキュラム表とは、卒業要件を満たし卒業するまでに必要となる授業科目をわかりやすくまとめたものです。皆さんの学習計画の指標として活用してください。

カリキュラム表は、「所属学科」「入学年度」毎に作成されています。自分に当てはまるカリキュラム表を確認してください。

また、学芸員の資格取得課程を希望する学生だけが使用するカリキュラム表もあります。これは学部学科の学位取得課程に所属した上で、希望者が履修するものです。この資格取得課程だけで大学を卒業することはできません。

## 2. カリキュラムマップについて

カリキュラムマップとは、授業科目とディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関係を示した表です。各々授業科目が、ディプロマ・ポリシーとどのように関連しているか確認できます。

## 3. カリキュラム・ツリーについて

カリキュラム・ツリーとは、入学から卒業までの各年次における学びの流れをツリー型のマップでわかりやすく図示したものです。

本学では、1年次には経済を学ぶために必要な基礎的スキルと一般教養を主に学び、2年次になると専門科目が増えてきます。3年次からは専門のゼミナールを中心に本格的に経済の学びに入り、4年次は大学4年間の集大成となります。

この学びの流れについて、関連する科目をまとめ学修の道筋を示すなど、授業科目間の系統性をわかりやすく表し、「基礎科目」と「教養科目」から知識としての栄養を吸収しながら、木の幹で表された「経済」への知識がスクスクと育ち、4年次には一人一人が自分の「学問の花」を咲かせる様子がカリキュラム・ツリーに描かれています。

このカリキュラム・ツリーにより、新潟産業大学での学びを俯瞰し、卒業までの履修計画をイメージしてください。

## 4. 科目ナンバー・履修モデルについて

科目ナンバーとは、学問分野での科目がもつ難易度や位置付けをわかりやすくしたものです。また、履修モデルとは、各課程のカリキュラム表を基に、入学してから卒業するまでの学問分野を体系的に示したものです。特に科目ナンバーは、みなさんが主体的に考え段階的に履修することにより、将来設計の手助けになりますので活用してください。科目ナンバー・履修モデルの表は、各カリキュラム表の次のページをご覧ください。科目ナンバーのもつ意味合いは次ページのとおりです。

科目ナンバー（2025年度以降入学者）

■ AAA000A 英数字7桁表記 ■

英字第1桁：科目大区分 [基本教育科目「B」、専門教育科目「S」]

英字第2・3桁：科目小区分 [分野区分]

数字第1桁：難易度 [配当年次]

数字第2・3桁：科目ナンバー [科目番号]

英字第4桁：科目性質 [一般「G(General)」、必修「R(Required)」、履修指定「S(Specified)」、選択必修「E(Elective required)」]

英字第1桁 科目大区分	英字第2・3桁：科目小分 基礎科目(Fundamental subject) 教養科目(Liberal arts)		数字第1桁	数字第2・3桁	英字第4桁	
基本教育科目	B	大学生活	FS(Campus life support)	配当年次：1～4	科目番号：01～99	科目性質：一般「G」 必修「R」 履修指定「S」 選択必修「E」 アンダーライン「C」
		基礎学力	FL(Learning ability training)			
		キャリア支援	FC(Carrier support)			
		情報基礎力	FI(Information basic)			
		英語	LE(English)			
		中国語	LC(Chinese)			
		韓国語	LK(Korea)			
		日本語	LJ(Japanese)			
		グローバル	LG(Global)			
		自然科学	LN(Natural science)			
		社会科学	LS(Social science)			
		人文科学	LH(Humanities)			
専門教育科目	S	経済経営学科 (Economics and Business administration)				
		学科共通	EG(General)			
		経済学系	EE(Economics)			
		経営学系	EB(Business)			
		金融系	EF(Finance)			
		専門ゼミナール	ES(Seminar)			
		文化経済学科(Cultural economics)				
		経済経営系	CE(Economics and Business)			
		学科共通	CG(General)			
		文化産業国際理解系	CC(Culture)			
		地域づくり系	CR(Region)			
		スポーツ・健康経営系	CH(Sports and health)			
		専門ゼミナール	CS(Seminar)			

# カリキュラムマップ

## 経済経営学科のディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

- 方針1) 「知識・問題解決力」 \* 変化する社会のニーズに応えるために  
 方針2) 「コミュニケーション力」 \* 複雑化する人間関係に応えるために  
 方針3) 「社会への関心と自己学習力」 \* 持続可能な世界の実現のために

学位：学士（経済経営学）

## 教育課程等の概要

（経済学部経済経営学科 通学課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			学位授与の方針と科目の関係				
			必修	選必	選択	方針1)	方針2)	方針3)		
基本教育科目	大学生生活	基礎ゼミナールⅠ	1	2			○	○		
		大学生生活と自己理解Ⅰ	1		1			○		
		基礎ゼミナールⅡ	1	2			○	○		
		大学生生活と自己理解Ⅱ	1		1			○		
		基礎ゼミナールⅢ	2	2			○	○		
		基礎ゼミナールⅣ	2	2			○	○		
	基礎学力	生活数学Ⅰ	1			2	○			
		生活数学Ⅱ	1			2	○			
		物理と化学	1			2	○			
		日本語表現	2			2	○			
	キャリア支援	キャリアデザインⅠ	1			2		○	○	
		キャリアデザインⅡ	2			2		○	○	
		新潟の企業を知る	2		2		○		○	
		インターンシップ	3			2		○	○	
		キャリアデザインⅢ	3			2		○	○	
	情報基礎力	パソコン演習Ⅰ	1		2		○			
		パソコン演習Ⅱ	1		2		○			
		データサイエンス入門	2			2	○			
		パソコン演習Ⅲ	2			2	○			
		パソコン演習Ⅳ	2			2	○			
	教養科目	国際化対応 表現基礎力・外国語	英語表現	1			2		○	○
			英語講読	1			2		○	○
			英会話	2			2		○	○
			基礎韓国語Ⅰ	1			2		○	○
基礎韓国語Ⅱ			1			2		○	○	
基礎韓国語会話			2			2		○	○	
韓国語会話			2			2		○	○	
基礎中国語Ⅰ			1			2		○	○	
基礎中国語Ⅱ			1			2		○	○	
日本語ⅠA			1	4				○	○	
日本語ⅠB			1	4				○	○	
日本語ⅠC			1	4				○	○	

## 教育課程等の概要

(経済学部経済経営学科 通学課程)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			学位授与の方針と科目の関係				
			必修	選必	選択	方針1)	方針2)	方針3)		
基本教育科目	国際化対応 表現基礎力・外国語	日本語ⅡA	1	4			○	○		
		日本語ⅡB	1	4			○	○		
		日本語Ⅲ	1			4		○	○	
		日本語演習	1			4		○	○	
		日本語上級A	2			2		○	○	
		日本語上級B	2			2		○	○	
		ビジネス日本語	2			2	○	○	○	
		グローバル	日本文化経済視察研修	1			2	○	○	○
			外国文化経済視察研修	1			2	○	○	○
		自然科学	自然科学概論	1			2	○		
	環境科学		1			2	○			
	社会科学	法学	1			2	○		○	
		社会学	1			2	○		○	
		日本国憲法	1			2	○		○	
		男女共同参画社会論	1			2	○		○	
		スポーツ実習Ⅰ	1			1		○		
		スポーツ実習Ⅱ	1			1		○		
		ヘルスサイエンス	1			2			○	
		スポーツ実習Ⅲ	1			1		○		
	スポーツ実習Ⅳ	1			1		○			
	人文科学	日本史	1			2	○		○	
		東アジア理解講座	1			2	○		○	
		世界史概論	1			2	○		○	
		生涯学習概論	1			2	○		○	
		日本文化論	1			2	○		○	
		心理学	1			2	○		○	
		文学	1			2	○		○	
		哲学	1			2	○		○	
		デザイン演習Ⅰ	1			2			○	
		デザイン演習Ⅱ	1			2			○	
デザイン演習Ⅲ	2			2			○			

## 教育課程等の概要

(経済学部経済経営学科 通学課程)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			学位授与の方針と科目の関係				
			必修	選必	選択	方針1)	方針2)	方針3)		
学科共通科目	基礎科目	成長実感クラスⅠA	1			1		○	○	
		成長実感クラスⅠB	1			1		○	○	
		ボランティア演習Ⅰ	1			2		○	○	
		ボランティア演習Ⅱ	1			2		○	○	
		アドバンストクラス演習ⅠA	1			2	○		○	
		アドバンストクラス演習ⅠB	1			2	○		○	
	基幹科目	成長実感クラスⅡA	2			1		○	○	
		成長実感クラスⅡB	2			1		○	○	
		アドバンストクラス演習ⅡA	2			2	○		○	
		アドバンストクラス演習ⅡB	2			2	○		○	
	展開科目	成長実感クラスⅢA	3			1		○	○	
		成長実感クラスⅢB	3			1		○	○	
		アドバンストクラス演習ⅢA	3			2	○		○	
		アドバンストクラス演習ⅢB	3			2	○		○	
	専門教育科目	基礎科目	基礎ミクロ経済学	1	2			○		○
			基礎マクロ経済学	1	2			○		○
統計学			1			2	○			
経済分析と数学			1		2		○			
基幹科目		ミクロ経済学	2	2			○		○	
		マクロ経済学	2	2			○		○	
		統計データ分析演習	2			2	○			
		日本経済史	2		2		○		○	
		計量経済分析基礎	2			2	○			
		西洋経済史	2			2	○		○	
		労働経済学	2			2	○		○	
経済学系科目		展開科目	アドバンストマクロ経済学	3			2	○		○
			計量経済学	3			2	○		
			アジア経済論	3			2	○		○
			経済成長論	3			2	○		○
			企業経済学	3			2	○		○
			国際経済学	3			2	○		○
			日本経済論	3			2	○		○
			地方財政論	3			2	○		○
			アドバンストミクロ経済学	3			2	○		○
			環境経済学	3			2	○		○
			公共経済学	3			2	○		○
			開発経済学	3			2	○		○
			ゲーム理論	3			2	○		○
		地域経済学	3			2	○		○	
		財政学	3			2	○		○	

## 教育課程等の概要

(経済学部経済経営学科 通学課程)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			学位授与の方針と科目の関係			
			必修	選必	選択	方針1)	方針2)	方針3)	
経営学系科目	基礎科目	経営学入門	1	2		○		○	
		企業論	1		2	○		○	
		民法	1		2	○		○	
		経営情報論	1		2	○		○	
		情報処理演習Ⅰ	1		2	○		○	
	基幹科目	中小企業論	2		2	○		○	
		会社法	2		2	○		○	
		マーケティング論	2	2		○		○	
		情報処理演習Ⅱ	2		2	○		○	
		生成AⅠと情報倫理	2		2	○		○	
		リーダーシップ論	2		2	○		○	
		経営管理論	2	2		○		○	
		ビジネス法務	2		2	○		○	
		社会調査法	2		2	○		○	
		流通システム論	2		2	○		○	
	展開科目	経営組織論	3		2	○		○	
		人的資源管理	3		2	○		○	
		経営戦略論	3		2	○		○	
		商品開発論	3		2	○		○	
		組織行動論	3		2	○		○	
		起業論	3		2	○		○	
		ビジネス演習	3		2	○	○	○	
		知的財産論	3		2	○		○	
	専門教育科目	基礎科目	簿記Ⅰ	1	2		○		○
			簿記Ⅱ	1	2		○		○
			会計学入門	1		2	○		○
			簿記演習	1		2	○		○
		基幹科目	簿記Ⅲ	2		2	○		○
銀行・証券・保険論			2	2		○		○	
金融リテラシー			2		2	○		○	
会計学			2		2	○		○	
簿記Ⅳ			2		2	○		○	
原価計算論			2		2	○		○	
証券外務			2		2	○		○	
不動産管理論			2		2	○		○	
展開科目		管理会計論	3		2	○		○	
		経営分析論	3		2	○		○	
		金融論	3		2	○		○	
		財務諸表論	3		2	○		○	
		会計監査論	3		2	○		○	
		国際金融論	3		2	○		○	
		税務会計論	3		2	○		○	
		ファイナンシャル・プランニング	3		2	○		○	
専門ゼミナール科目		地域理解ゼミナールⅠ	1	2		○		○	
		地域理解ゼミナールⅡ	1	2		○		○	
	地域理解ゼミナールⅢ	2	2		○	○	○		
	専門ゼミナールⅠ	3	2		○	○	○		
	専門ゼミナールⅡ	3	2		○	○	○		
	専門ゼミナールⅢ	4	2		○	○	○		
	専門ゼミナールⅣ	4	2		○	○	○		

# カリキュラムマップ

## 文化経済学科のディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

- 方針1) 「知識・問題解決力」 \* 変化する社会のニーズに応えるために  
 方針2) 「コミュニケーション力」 \* 複雑化する人間関係に応えるために  
 方針3) 「社会への関心と自己学習力」 \* 持続可能な世界の実現のために

学位：学士（文化経済学）

## 教育課程等の概要

（経済学部文化経済学科 通学課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			学位授与の方針と科目の関係				
			必修	選必	選択	方針1)	方針2)	方針3)		
基本 教育 科目	大学 生活	基礎ゼミナールⅠ	1	2			○	○		
		大学生活と自己理解Ⅰ	1		1			○		
		基礎ゼミナールⅡ	1	2			○	○		
		大学生活と自己理解Ⅱ	1		1			○		
		基礎ゼミナールⅢ	2	2			○	○		
		基礎ゼミナールⅣ	2	2			○	○		
	基礎 学力	生活数学Ⅰ	1			2	○			
		生活数学Ⅱ	1			2	○			
		物理と化学	1			2	○			
		日本語表現	2			2	○			
	キャ リア 支援	キャリアデザインⅠ	1			2		○	○	
		キャリアデザインⅡ[自己分析]	2			2		○	○	
		新潟の企業を知る	2		2		○		○	
		インターンシップ	3			2		○	○	
		キャリアデザインⅢ	3			2		○	○	
	情 報 基 礎 力	パソコン演習Ⅰ[WORD]	1		2		○			
		パソコン演習Ⅱ[EXCEL基礎]	1		2		○			
		データサイエンス入門	2			2	○			
		パソコン演習Ⅲ[EXCEL応用]	2			2	○			
		パソコン演習Ⅳ[データベース]	2			2	○			
	教 養 科 目	表 現 基 礎 力 ・ 外 国 語 国際化対応	英語表現	1			2		○	○
			英語講読	1			2		○	○
			英会話	2			2		○	○
			基礎韓国語Ⅰ	1			2		○	○
			基礎韓国語Ⅱ	1			2		○	○
			基礎韓国語会話	2			2		○	○
			韓国語会話	2			2		○	○
基礎中国語Ⅰ			1			2		○	○	
基礎中国語Ⅱ			1			2		○	○	
日本語ⅠA			1	4				○	○	
日本語ⅠB			1	4				○	○	
日本語ⅠC			1	4				○	○	

## 教育課程等の概要

(経済学部文化経済学科 通学課程)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			学位授与の方針と科目の関係				
			必修	選必	選択	方針1)	方針2)	方針3)		
基本教育科目	国際化対応	日本語ⅡA	1	4				○	○	
		日本語ⅡB	1	4				○	○	
		日本語Ⅲ	1			4			○	○
		日本語演習	1			4			○	○
		日本語上級A	2			2			○	○
		日本語上級B	2			2			○	○
		ビジネス日本語	2			2	○	○	○	○
		グローバル	日本文化経済視察研修	1			2	○	○	○
		外国文化経済視察研修	1			2	○	○	○	
	自然科学	自然科学概論	1			2	○			
		環境科学[エネルギー問題]	1			2	○			
	社会科学	法学	1			2	○		○	
		社会学	1			2	○		○	
		日本国憲法	1			2	○		○	
		男女共同参画社会論	1			2	○		○	
		スポーツ実習Ⅰ[陸上]	1			1		○		
		スポーツ実習Ⅱ[卓球・バドミントン]	1			1		○		
		ヘルスサイエンス	1			2			○	
		スポーツ実習Ⅲ[ソフトボール]	1			1		○		
	スポーツ実習Ⅳ[サッカー]	1			1		○			
	人文科学	日本史	1			2	○		○	
		日本文化論	1			2	○		○	
		東アジア理解講座[歴史・文明・自然・環境]	1			2	○		○	
		世界史概論	1			2	○		○	
		生涯学習概論	1			2	○		○	
		心理学	1			2	○		○	
		文学	1			2	○		○	
		哲学	1			2	○		○	
		デザイン演習Ⅰ[チラシ・ポスター]	1			2			○	
		デザイン演習Ⅱ[広報誌]	1			2			○	
	デザイン演習Ⅲ[動画制作]	2			2			○		
	専門教育科目	基礎科目	基礎ミクロ経済学	1	2			○		○
			経営学入門	1	2			○		○
簿記Ⅰ			1		2		○		○	
基礎マクロ経済学			1	2			○		○	
会計学入門			1			2	○		○	
簿記Ⅱ			1		2		○		○	
基幹科目		ミクロ経済学	2			2	○		○	
		マーケティング論	2			2	○		○	
		リーダーシップ論	2			2	○		○	
		マクロ経済学	2			2	○		○	
		経営管理論	2			2	○		○	
展開科目		経営組織論	3			2	○		○	
		経営戦略論	3			2	○		○	
		金融論	3			2	○		○	
		起業論	3			2	○		○	
ゲーム理論	3			2	○		○			

## 教育課程等の概要

(経済学部文化経済学科 通学課程)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			学位授与の方針と科目の関係				
			必修	選必	選択	方針1)	方針2)	方針3)		
専門教育科目	基礎科目	ボランティア演習Ⅰ	1			2		○	○	
		アドバンストクラス演習ⅠA	1			2	○		○	
		ボランティア演習Ⅱ	1			2		○	○	
		アドバンストクラス演習ⅠB	1			2	○		○	
		成長実感クラスⅠA	1			1		○	○	
		成長実感クラスⅠB	1			1		○	○	
	基礎科目	文化経済学	2	2			○		○	
		アドバンストクラス演習ⅡA	2			2	○		○	
		文化産業論	2	2			○		○	
		アドバンストクラス演習ⅡB	2			2	○		○	
		成長実感クラスⅡA	2			1		○	○	
		成長実感クラスⅡB	2			1		○	○	
	展開科目	アドバンストクラス演習ⅢA	3			2	○		○	
		アドバンストクラス演習ⅢB	3			2	○		○	
		成長実感クラスⅢA	3			1		○	○	
		成長実感クラスⅢB	3			1		○	○	
	文化産業・国際理解系科目	基礎科目	韓国文化事情	1			2	○		○
			欧米文化事情	1			2	○		○
			越佐文化論	1			2	○		○
			日本の芸術	1			2	○		○
			中国文化事情	1			2	○		○
異文化コミュニケーション			1		2		○	○	○	
日本の伝統芸能			1			2	○		○	
東洋の芸術			1			2	○		○	
博物館概論			1			2	○		○	
基礎科目		日本のマンガ・アニメーション	2			2	○		○	
		モンゴルの歴史と文化	2			2	○		○	
		西洋の芸術	2			2	○		○	
		博物館展示論	2			2	○		○	
		文化政策論	2		2		○		○	
		世界文化遺産	2			2	○		○	
展開科目	コンテンツ産業論	3			2	○		○		
	アジアのポップ・カルチャー	3			2	○		○		
	博物館経営論	3			2	○		○		
	知的財産論	3			2	○		○		
	比較文化論	3			2	○		○		
	アジアの文化とビジネス事情	3			2	○		○		

## 教育課程等の概要

(経済学部文化経済学科 通学課程)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			学位授与の方針と科目の関係		
			必修	選必	選択	方針1)	方針2)	方針3)
専門教育科目	基礎科目	国内旅行業務[国内観光資源]	1		2	○		○
		国内旅行実務[運賃・料金]	1		2	○		○
		観光資源論	1		2	○		○
		食文化論	1		2	○		○
		まちづくり論	1		2	○		○
		ユニバーサルデザインと福祉	1		2	○		○
	基幹科目	SDGs入門	2		2	○		○
		観光約款	2		2	○		○
		旅行業法	2		2	○		○
		旅行業務管理演習	2		2	○		○
		福祉住環境論	2		2	○		○
		アグリビジネス論	2		2	○		○
		非営利組織論	2		2	○		○
		地域振興と観光	2		2	○		○
		児童福祉[子ども食堂]	2		2	○	○	○
	食環境づくり論	2		2	○		○	
	展開科目	地方活性化と地域通貨	3		2	○		○
		地方財政論	3		2	○		○
		インバウンド・ツーリズム論	3		2	○		○
		福祉ボランティア	3		2	○	○	○
		グリーンツーリズム演習	3		2	○	○	○
		地域社会論	3		2	○		○
		地域政策	3		2	○		○
		地域経済学	3		2	○		○
	基礎科目	環境経済学	3		2	○		○
		体力測定と評価	1		2	○		
		健康づくりと運動プログラム	1		2	○		
		スポーツ心理学	1		2	○		
		スポーツ栄養学	1		2	○		
		からだの構造	1		2	○		
	スポーツ・健康経営系科目	基礎科目	1		2	○		
		リズム運動実習	2		1	○		
		ウォーキング・ジョギング実習	2		1	○		
		スポーツコーチング実践Ⅰ	2		2	○		
		スポーツバイオメカニクス	2		2	○		
		筋力トレーニング演習	2		2	○		
運動生理学		2		2	○			
スポーツボランティア		2		2	○	○	○	
コンディショニング論		2		2	○			
アクアビクス・水泳演習		2		2	○			
スポーツ医学		2		2	○			
スポーツコーチング実践Ⅱ		2		2	○			
子どものスポーツ		2		2	○			
スポーツ行政論	2		2	○		○		
展開科目	健康経営論	3		2	○		○	
	スポーツマネジメント	3		2	○		○	
	健康運動実践指導	3		2	○	○	○	
	救急蘇生演習	3		2	○		○	
	アシスタントマネジャー	3		2	○		○	
	健康づくりボランティア	3		2	○	○	○	

## 教育課程等の概要

(経済学部文化経済学科 通学課程)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			学位授与の方針と科目の関係		
			必修	選必	選択	方針1)	方針2)	方針3)
専門 教育 科目	地域理解ゼミナールⅠ	1	2			○		○
	地域理解ゼミナールⅡ	1	2			○		○
	地域理解ゼミナールⅢ	2	2			○	○	○
	専門ゼミナールⅠ	3	2			○	○	○
	専門ゼミナールⅡ	3	2			○	○	○
	専門ゼミナールⅢ	4	2			○	○	○
	専門ゼミナールⅣ	4	2			○	○	○

## 行動指針「スリーブルーの精神の体現」

Student First（生徒・学生第一）

Society&Sustainability

（持続可能な高校・大学と社会の構築）

Study&Service（学びによる貢献）



◇私たちは常に生徒・学生の視点に立って、一人ひとりにあわせた自立に向けた様々なサポートを行います。

◇私たちは社会の公器であり、継続的に教育の提供の責務があります。そして新しい時代感覚を持った人材育成を通じて持続可能な社会の構築に貢献します。

◇私たちは様々な学びの機会を提供し、生涯学び続ける生徒・学生を輩出することで社会へ貢献していきます。

## 新潟産業大学マスコットキャラクター『サンチャッカル』



デザインは、本学が立地する柏崎市をイメージさせる「海」、明るさ、親しみやすさ、世界へ羽ばたく人材の育成などの観点から製作しました。

ネーミングは、2005年度に公募し、応募総数401作品の中から『サンチャッカル』に決定しました。

『サンチャッカル』は、新潟産業大学の「サン」とチャイカ（ロシア語でカモメ）のチャと「カルメギ」（朝鮮語でカモメ）のカルを足したものです。その言葉の響きやユニークさ、国際色豊かであることから選考されました。

## 大学事務局

大学代表・総務課	0257-24-6655	学務課（授業関連）	0257-24-8436
地域連携センター事務室		学務課（学生生活関連）	0257-24-6402
	0257-24-8441	就職課	0257-24-8437
入試課	0257-24-4901	図書館	0257-24-8435

履修の手引き

2026年4月1日発行

編集・新潟産業大学

新潟県柏崎市軽井川4730番地

